

すこやかアンケート及び介護サービス事業者に関するアンケート調査の実施について

1 調査目的

本市では、「高齢者保健福祉計画」及び「介護保険事業計画」の2つの計画について、両計画を調和のとれた計画とするため「京都市民長寿すこやかプラン」として一体的に策定している。

本調査は、次期プランとなる「第9期京都市民長寿すこやかプラン（計画期間：令和6年度～8年度）」の策定に向けた基礎資料とするため、介護サービスの利用状況及び今後の利用意向等を把握するとともに、介護保険制度及び高齢者保健福祉施策に係る市民の意向を調査するため3年ごとに実施しているもの。

2 調査期間・概要

(1) 調査期間

令和4年11月25日（金）～12月26日（月）

(2) 調査概要

	種 別	調査対象
すこやかアンケート	高齢者調査	○市内在住の65歳以上の方、4,200人 ○令和4年10月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
	若年者調査	○市内在住の40歳以上65歳未満の方、1,200人 ○令和4年10月1日現在の住民基本台帳から無作為抽出
	在宅介護実態調査 ・ 本人向け ・ 介護者向け	○市内在住の介護保険制度の要介護（要支援）認定を受けている65歳以上の方、2,000人 ○令和4年10月1日現在の住民基本台帳データのうち、令和4年7月に要介護（要支援）認定を受けている方から無作為抽出
介護サービス事業者アンケート調査	○京都市内で施設・居住系サービスを提供する介護サービス事業者、約370事業者	

3 調査の方法

(1) すこやかアンケート（高齢者調査・若年者調査・在宅介護実態調査）

住民基本台帳等から無作為抽出（各調査間で対象者が重ならないよう調整）した市民に、調査票を郵送し、郵送により調査票の回答（無記名）を受ける形で実施する。

なお、在宅介護実態調査については、回収後に認定データと関連付けた分析を可

能とする接続方式を採用する。

(2) 介護サービス事業者アンケート調査

京都市内で施設・居住系サービスを提供する介護サービス事業者に案内文書を郵送し、ホームページ上の調査専用画面への入力により回答を受ける形で実施する。

4 調査に当たっての国の方針

(1) 高齢者調査（国の示す基本指針に基づく調査）

国における調査の名称：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

・基本的な考え方・調査項目について、前回の第8期から変更なし。

(2) 在宅介護実態調査（国の示す基本指針に基づく調査）

国における調査の名称：在宅介護実態調査（本市と同様）

・基本的な考え方・調査項目について、前回の第8期から変更なし。

【別紙1】第9期介護保険事業計画作成に向けた各種調査等に関する説明会 資料2

5 前回調査からの主な変更点

本市の厳しい財政状況の下、調査項目と計画策定の関連性や費用対効果等を精査した結果、以下のとおり見直しを行った。

- 「高齢者調査」、「若年者調査」及び「在宅介護実態調査」については、調査項目を重点化し、回答者の負担軽減と回答率の向上を図るとともに、高齢者調査については、集計単位を日常生活圏域単位から全市単位とする。
- 「介護サービス事業者調査」については、調査項目を重点化し、回答者の負担軽減と回収率の向上を図るとともに、施設・居住系サービス事業所のみを対象として実施する。

<調査項目の重点化結果>

調査項目数：205問／前回調査：264問（26問新規追加、85問削減）
（内訳）

① 高齢者調査

調査項目数：95問／前回調査：108問（6問新規追加、19問削減）

② 若年者調査

調査項目数：48問／前回調査：79問（6問新規追加、37問削減）

③ 在宅介護実態調査

調査項目数：29問／前回調査：26問（3問新規追加、0問削減）

④ 介護サービス事業者アンケート調査

調査項目数：33問／前回調査：51問（11問新規追加、29問削減）

【別紙2】新旧対象表、【別紙3】調査票（案）

※ 8月31日に開催したワーキンググループにおいて、各委員の皆さまから頂戴した御意見を反映 別紙4

6 今後のスケジュール

令和4年11月 8日	【第2回】高齢者施策推進協議会開催 → 調査方法・調査項目等について確定
11月25日～	調査アンケートの郵送及び回収
12月26日	アンケート回収期限
12月27日～	調査アンケートの集計・分析
令和5年 2月	集計結果のとりまとめ
3月	【第3回】高齢者施策推進協議会開催 → 集計結果の報告 → 第9期プラン策定に反映

第9期介護保険事業(支援)計画 の作成準備について

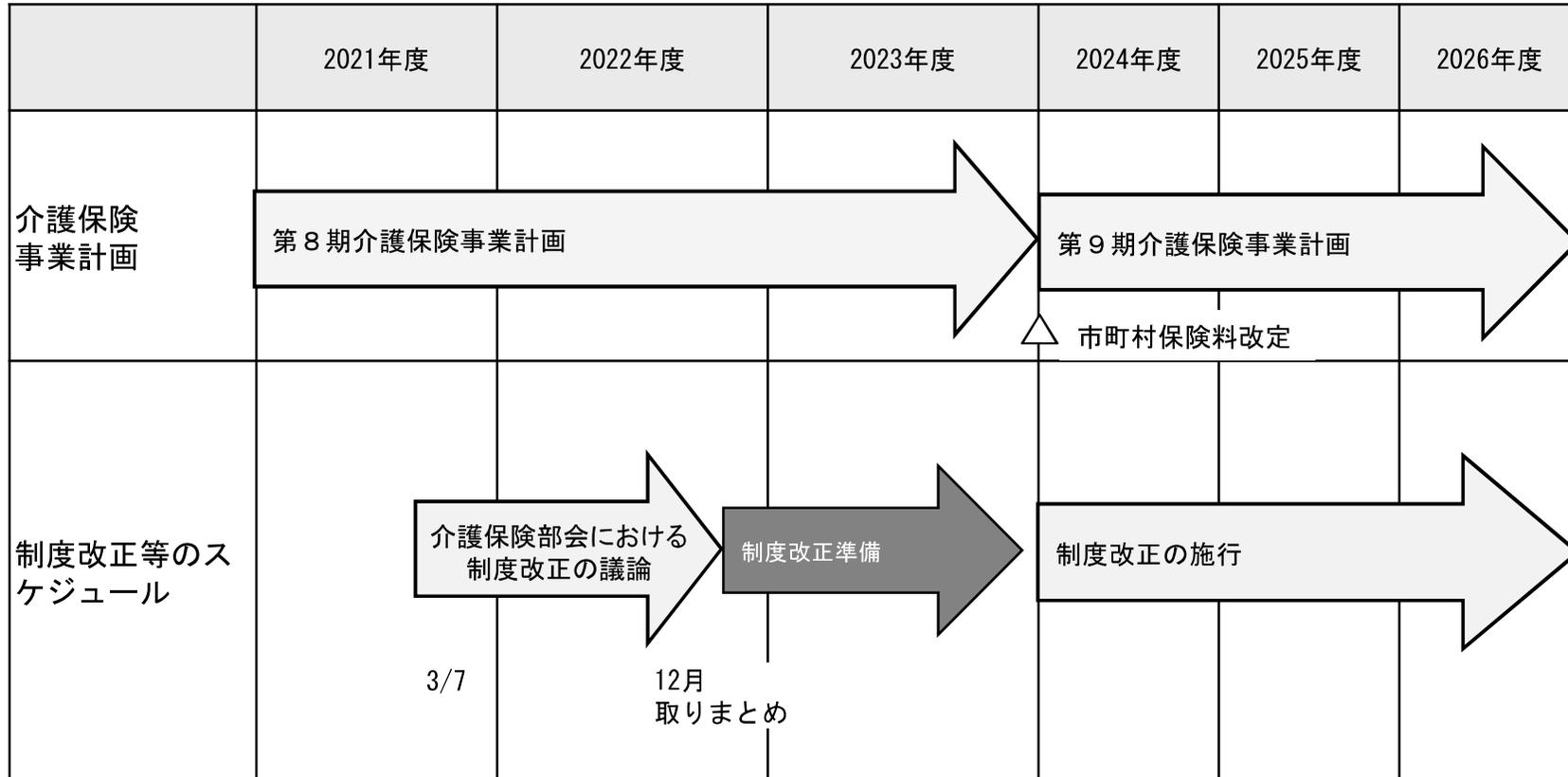
<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要
- 3 介護保険制度をとりまく状況
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要
- 3 介護保険制度をとりまく状況
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

介護保険制度の改正サイクル



※ 介護報酬改定の議論は、社会保障審議会介護給付費分科会で議論予定。

社会保障審議会介護保険部会における検討の進め方について

- 次期制度改正に向けては、2040年に向けて生産年齢人口が急減し、85歳以上人口が急速に増加していくことが見込まれる中で、
 - ・ 2025年に向けて構築を図っている地域包括ケアシステムを更に深化・推進するとともに、
 - ・ 介護ニーズの増大と労働力の制約への対応を両立させ、制度の持続可能性を確保するという視点に基づきつつ、過去の部会報告や全世代型社会保障構築会議での論点、前回の部会でのご意見等を踏まえ、例えば以下に掲げるような点について順次議論していく。

当面検討を行う論点

◎地域包括ケアシステムの更なる深化・推進

- ・ 在宅・施設を通じた介護サービスの基盤整備、住まいと生活の一体的な支援
- ・ 医療と介護の連携強化、自立支援・重度化防止の取組の推進
- ・ 認知症施策、家族を含めた相談支援体制
- ・ 地域における介護予防や社会参加活動の充実
- ・ 保険者機能の強化

◎介護人材の確保、介護現場の生産性向上の推進

◎給付と負担

◎その他の課題

※検討項目については、今後の議論に応じて見直す。

総合確保方針の次期改定に向けた進め方（案）

医療介護総合確保
促進会議（第15回）
令和3年10月11日

資料4

- 地域における医療及び介護を総合的に確保するための基本的な方針（以下「総合確保方針」という。）については、平成26年9月に制定され、平成28年12月に一部が改定された。
- 令和6年度の第8次医療計画と、第9期介護保険事業（支援）計画の同時改定を踏まえ、医療計画基本方針と、介護保険事業計画基本指針の改定が行われる予定である。
- これらの改定を見据え、地域医療構想や第8期介護保険事業（支援）計画の進捗状況等を踏まえつつ、**令和4年末を目途にとりまとめる**ことを目指して、総合確保方針の改定に向けた議論を行うこととしてはどうか。

医療介護連携を推進するために議論していくべき論点（たたき台）

- 新型コロナウイルス感染症の拡大への対応は、医療・介護分野における重要なテーマであるが、総合確保方針の改定に向けた議論においては、足下の感染症対策はもちろんのこと、人口動態の変化への対応など、より長期的な事項について検討すべきではないか。
- 引き続き「地域包括ケアシステム」の構築を進め、一層の医療介護連携政策を推進していくことが重要ではないか。
- また、介護・医療間の情報共有を可能にするための標準化など、より一層のデジタル化による医療・介護の情報連携の強化が重要ではないか。

<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要**
- 3 介護保険制度をとりまく状況
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

介護保険事業(支援)計画について

- 保険給付の円滑な実施のため、3年間を1期とする介護保険事業(支援)計画を策定している。

国の基本指針(法第116条、8期指針：令和3年1月厚生労働省告示第29号)

- 介護保険法第116条第1項に基づき、地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律に規定する総合確保方針に即して、国が介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本指針を定める
 - ※市町村等が介護サービス量を見込むに当たり参酌する標準を示す

市町村介護保険事業計画(法第117条)

- 区域(日常生活圏域)の設定
- 各年度における種類ごとの介護サービス量の見込み(区域毎)
- 各年度における必要定員総数(区域毎)
 - ※認知症対応型共同生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
- 各年度における地域支援事業の量の見込み
- 介護予防・重度化防止等の取組内容及び目標
- その他の事項

保険料の設定等

- 保険料の設定
- 市町村長は、地域密着型の施設等について、必要定員総数を超える場合に、指定をしないことができる。

都道府県介護保険事業支援計画(法第118条)

- 区域(老人福祉圏域)の設定
- 市町村の計画を踏まえて、介護サービス量の見込み(区域毎)
- 各年度における必要定員総数(区域毎)
 - ※介護保険施設、介護専用型特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
 - ※混合型特定施設に係る必要定員総数を設定することもできる(任意)
- 市町村が行う介護予防・重度化防止等の支援内容及び目標
- その他の事項

基盤整備

- 都道府県知事は、介護保険施設等について、必要定員総数を超える場合に、指定等をしないことができる。

第8期 介護保険事業(支援)計画 基本指針の構成

前文

第一 サービス提供体制の確保及び事業実施に関する基本的事項

一 地域包括ケアシステムの基本的理念

- 1 自立支援、介護予防・重度化防止の推進
- 2 介護給付等対象サービスの充実・強化
- 3 在宅医療の充実及び在宅医療・介護連携を図るための体制の整備
- 4 日常生活を支援する体制の整備
- 5 高齢者の住まいの安定的な確保

- 二 二千二十五年及び二千四十年を見据えた目標
- 三 医療計画との整合性の確保
- 四 地域包括ケアシステムの構築を進める地域づくりと地域ケア会議・生活支援体制整備の推進
- 五 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上に資する事業
- 六 介護に取り組む家族等への支援の充実
- 七 認知症施策の推進
- 八 高齢者虐待の防止等
- 九 介護サービス情報の公表
- 十 効果的・効率的な介護給付の推進
- 十一 都道府県による市町村支援並びに都道府県・市町村間及び市町村相互間の連携
- 十二 介護保険制度の立案及び運用に関するPDCAサイクルの推進
- 十三 保険者機能強化推進交付金等の活用
- 十四 災害・感染症対策に係る体制整備

第二 市町村介護保険事業計画の作成に関する事項

一 市町村介護保険事業計画の作成に関する基本的事項

- 1 基本理念、達成しようとする目的及び地域の実情に応じた特色の明確化、施策の達成状況の評価等
- 2 要介護者等地域の実態の把握
- 3 市町村介護保険事業計画の作成のための体制の整備
- 4 二千二十五年度及び二千四十年の推計並びに第八期の目標
- 5 目標の達成状況の点検、調査及び評価等並びに公表
- 6 日常生活圏域の設定
- 7 他の計画との関係
- 8 その他

二 市町村介護保険事業計画の基本的記載事項

- 1 日常生活圏域
- 2 各年度における介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込み
- 3 各年度における地域支援事業の量の見込み
- 4 被保険者の地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止への取組及び目標設定

三 市町村介護保険事業計画の任意記載事項

- 1 地域包括ケアシステム構築のための重点的に取り組むことが必要な事項
 - (一)在宅医療・介護連携の推進
 - (二)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 - (三)生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進
 - (四)地域ケア会議の推進
 - (五)高齢者の居住安定に係る施策との連携
- 2 各年度における介護給付等対象サービスの種類ごとの見込量の確保のための方策
- 3 各年度における地域支援事業に要する費用の額及びその見込量の確保のための方策
- 4 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上に資する事業に関する事項
- 5 介護給付等対象サービス及び地域支援事業の円滑な提供を図るための事業等に関する事項
- 6 認知症施策の推進
- 7 特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数
- 8 地域包括支援センター及び生活支援・介護予防サービスの情報公表に関する事項
- 9 市町村独自事業に関する事項
- 10 療養病床の円滑な転換を図るための事業に関する事項
- 11 災害に対する備えの検討
- 12 感染症に対する備えの検討

第三 都道府県介護保険事業支援計画の作成に関する事項

一 都道府県介護保険事業支援計画の作成に関する基本的事項

- 1 基本理念、達成しようとする目的及び地域の実情に応じた特色の明確化、施策の達成状況の評価等
- 2 要介護者等の実態の把握
- 3 都道府県介護保険事業支援計画の作成のための体制の整備
- 4 市町村への支援
- 5 二千二十五年度及び二千四十年の推計並びに第八期の目標
- 6 目標の達成状況の点検、調査及び評価等並びに公表
- 7 老人福祉圏域の設定
- 8 他の計画との関係
- 9 その他

二 都道府県介護保険事業支援計画の基本的記載事項

- 1 老人福祉圏域
- 2 各年度における介護給付等対象サービスの種類ごとの量の見込み
- 3 市町村が行う被保険者の地域における自立した日常生活の支援、要介護状態等となることの予防又は要介護状態等の軽減若しくは悪化の防止及び介護給付の適正化への取組への支援に関する取組及び目標設定
- 4 老人福祉圏域を単位とする広域的調整
- 5 市町村介護保険事業計画との整合性の確保

三 都道府県介護保険事業支援計画の任意記載事項

- 1 地域包括ケアシステム構築のための支援に関する事項
 - (一)在宅医療・介護連携の推進
 - (二)高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施
 - (三)生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進
 - (四)地域ケア会議の推進
 - (五)介護予防の推進
 - (六)高齢者の居住安定に係る施策との連携
- 2 介護給付等対象サービスを提供するための施設における生活環境の改善を図るための事業に関する事項
- 3 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び資質の向上並びにその業務の効率化及び質の向上に資する事業に関する事項
- 4 介護給付等対象サービス及び地域支援事業の円滑な提供を図るための事業に関する事項
- 5 認知症施策の推進
- 6 特定施設入居者生活介護の指定を受けていない有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の入居定員総数
- 7 介護サービス情報の公表に関する事項
- 8 療養病床の円滑な転換を図るための事業に関する事項
- 9 災害に対する備えの検討
- 10 感染症に対する備えの検討

第四 指針の見直し

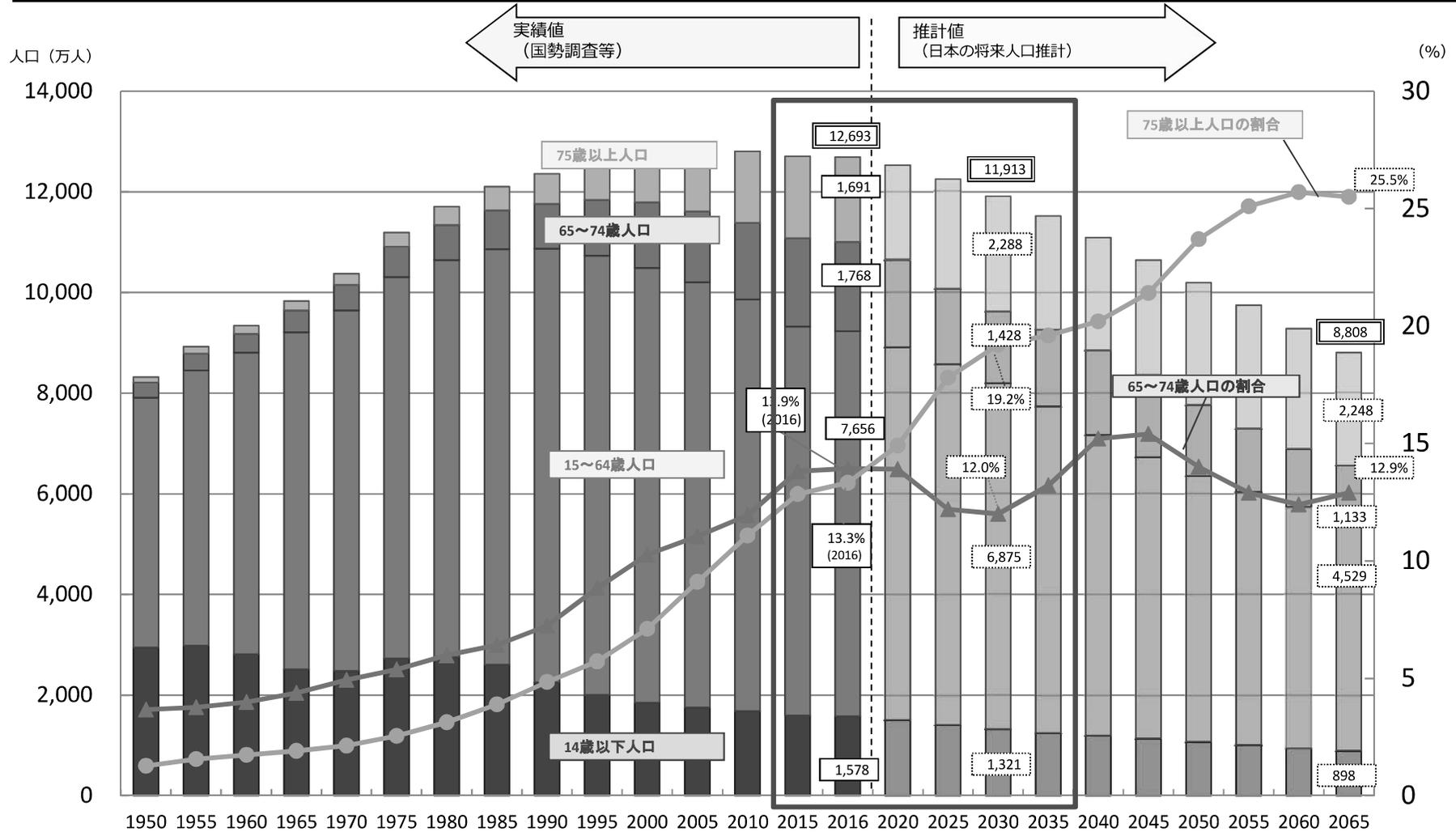
別表

<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要
- 3 介護保険制度をとりまく状況**
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

総人口の推移

○ 今後、日本の総人口が減少に転じていくなか、高齢者（特に75歳以上の高齢者）の占める割合は増加していくことが想定される。



資料：2016年までは総務省統計局「国勢調査」および「人口推計」、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年4月推計）中位推計」

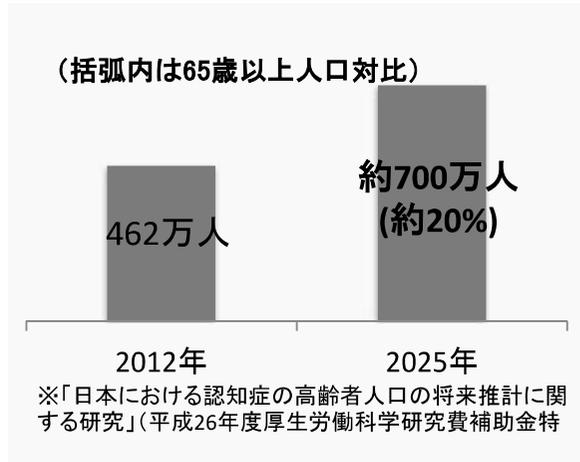
今後の介護保険をとりまく状況(1)

① 65歳以上の高齢者数は、2025年には3,677万人となり、2042年にはピークを迎える予測(3,935万人)。また、75歳以上高齢者の全人口に占める割合は増加していき、2055年には、25%を超える見込み。

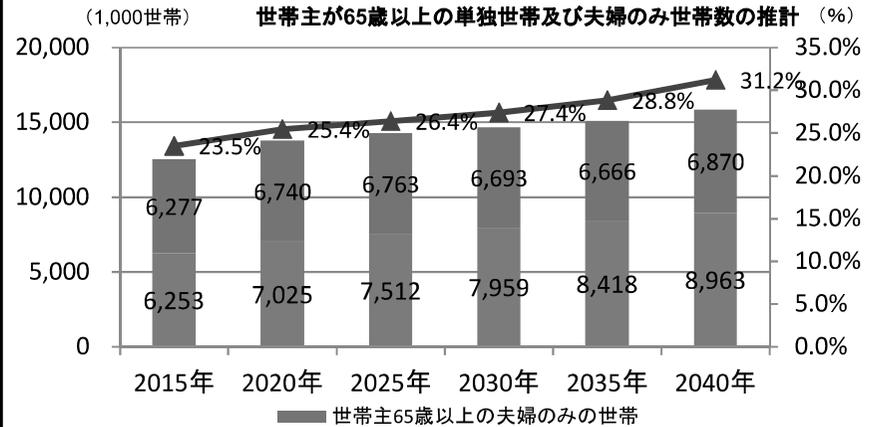
	2015年	2020年	2025年	2055年
65歳以上高齢者人口(割合)	3,387万人(26.6%)	3,619万人(28.9%)	3,677万人(30.0%)	3,704万人(38.0%)
75歳以上高齢者人口(割合)	1,632万人(12.8%)	1,872万人(14.9%)	2,180万人(17.8%)	2,446万人(25.1%)

国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(全国)(平成29(2017)年4月推計)」より作成

② 65歳以上高齢者のうち、認知症高齢者が増加していく。



③ 世帯主が65歳以上の単独世帯や夫婦のみの世帯が増加していく。



国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計(全国推計)(平成30(2018)年1月推計)」より作成

④ 75歳以上人口は、都市部では急速に増加し、もともと高齢者人口の多い地方でも緩やかに増加する。各地域の高齢化の状況は異なるため、各地域の特性に応じた対応が必要。

※都道府県名欄の()内の数字は倍率の順位

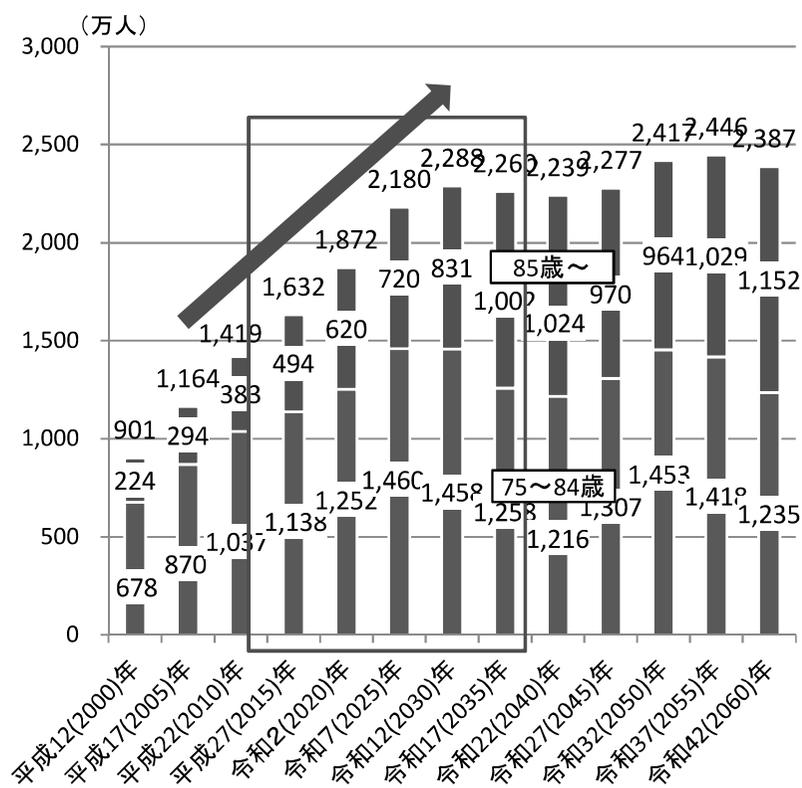
	埼玉県(1)	千葉県(2)	神奈川県(3)	愛知県(4)	大阪府(5)	~	東京都(17)	~	鹿児島県(45)	秋田県(46)	山形県(47)	全国
2015年 <>は割合	77.3万人 <10.6%>	70.7万人 <11.4%>	99.3万人 <10.9%>	80.8万人 <10.8%>	105.0万人 <11.9%>		146.9万人 <10.9%>		26.5万人 <16.1%>	18.9万人 <18.4%>	19.0万人 <16.9%>	1632.2万人 <12.8%>
2025年 <>は割合 ()は倍率	120.9万人 <16.8%> (1.56倍)	107.2万人 <17.5%> (1.52倍)	146.7万人 <16.2%> (1.48倍)	116.9万人 <15.7%> (1.45倍)	150.7万人 <17.7%> (1.44倍)		194.6万人 <14.1%> (1.33倍)		29.5万人 <19.5%> (1.11倍)	20.9万人 <23.6%> (1.11倍)	21.0万人 <20.6%> (1.10倍)	2180.0万人 <17.8%> (1.34倍)

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年3月推計)」より作成

今後の介護保険をとりまく状況(2)

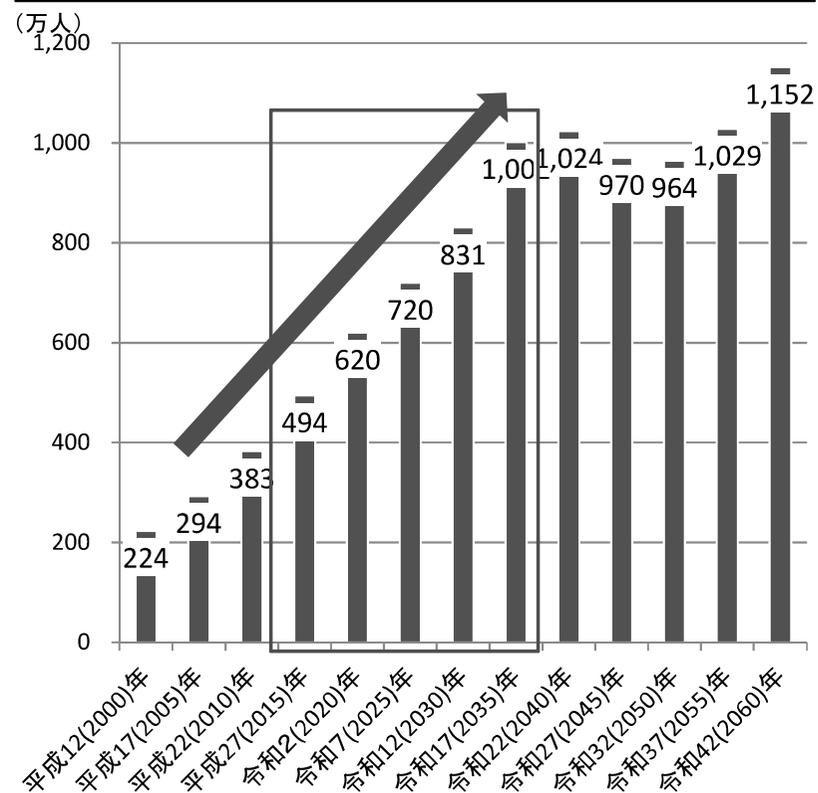
75歳以上の人口の推移

○75歳以上人口は、介護保険創設の2000年以降、急速に増加してきたが、2025年までの10年間も、急速に増加。



85歳以上の人口の推移

○85歳以上の人口は、2015年から2025年までの10年間、75歳以上人口を上回る勢いで増加し、2035年頃まで一貫して増加。

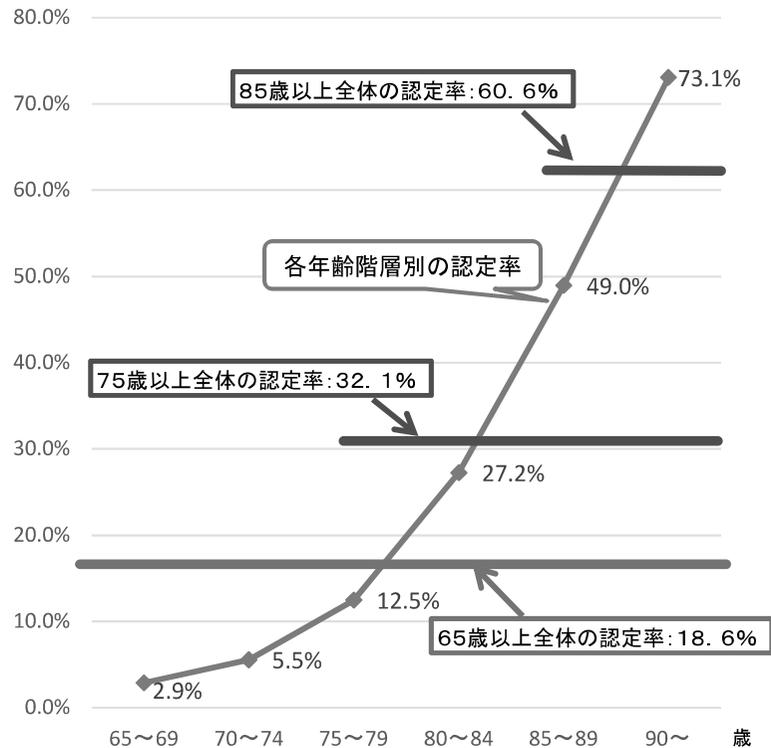


(資料) 将来推計は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」(平成29年4月推計)出生中位(死亡中位)推計
実績は、総務省統計局「国勢調査」(国籍・年齢不詳人口を按分補正した人口)

今後の介護保険をとりまく状況(3)

年齢階級別の要介護認定率

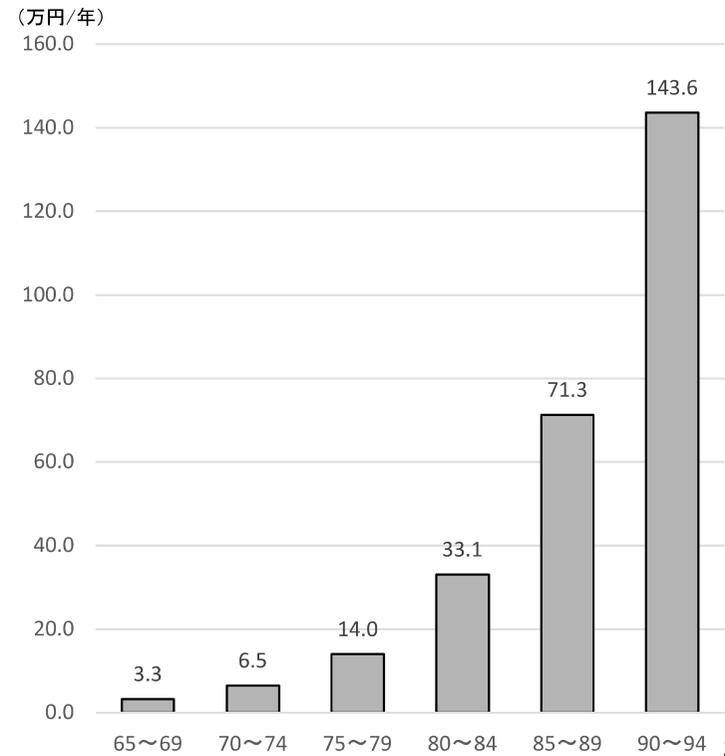
○要介護認定率は、年齢が上がるにつれ上昇。特に、85歳以上で上昇。



出典: 2019年9月末認定者数(介護保険事業状況報告)及び2019年10月1日人口(総務省統計局人口推計)から作成

年齢階級別の人口1人当たりの介護給付費

○一人当たり介護給付費は85歳以上の年齢階級で急増。

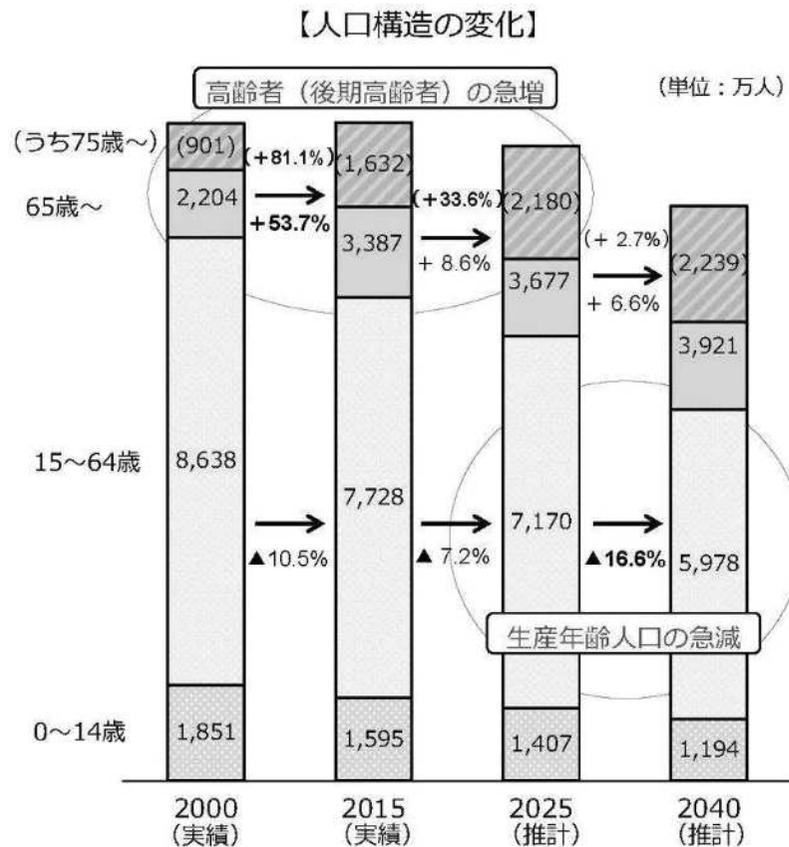


出典: 2018年度「介護給付費等実態統計」及び2018年10月1日人口(総務省統計局人口推計)から作成

注) 高額介護サービス費、高額医療合算介護サービス費は含まない。
補給給付に係る費用は、サービスごとに年齢階級別受給者数に応じて按分。

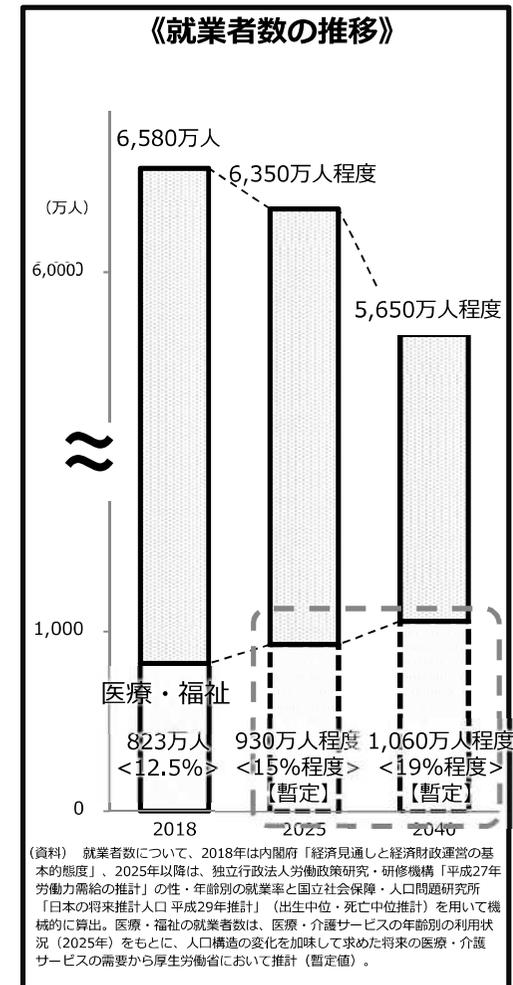
今後の介護保険をとりまく状況(4)

○人口構造の推移を見ると、2025年以降、「高齢者の急増」から「現役世代の急減」に局面が変化。



(出典) 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 平成29年推計」

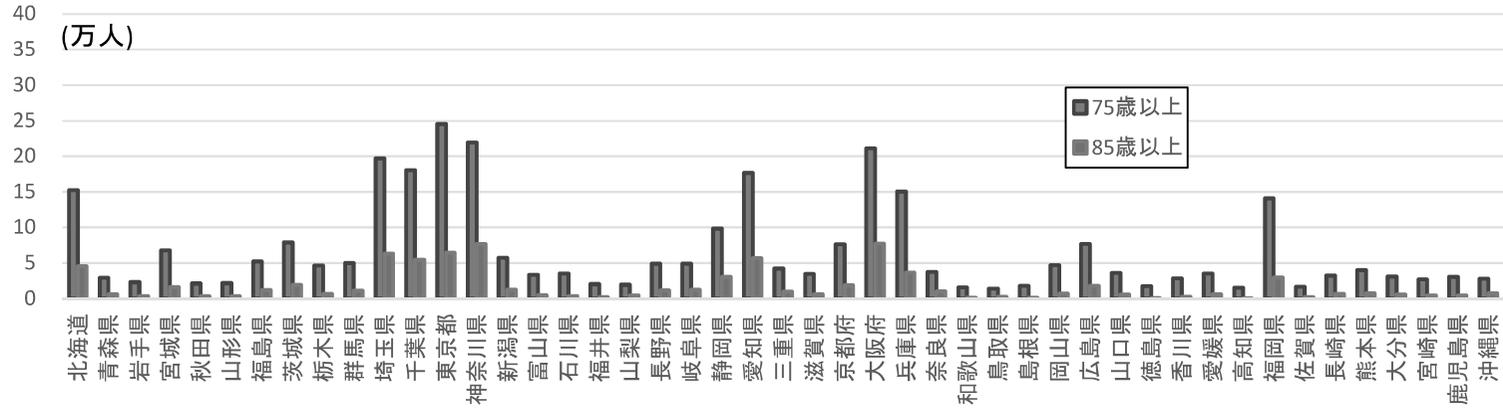
(出典) 平成30年4月12日経済財政諮問会議加藤臨時委員提出資料(厚生労働省)



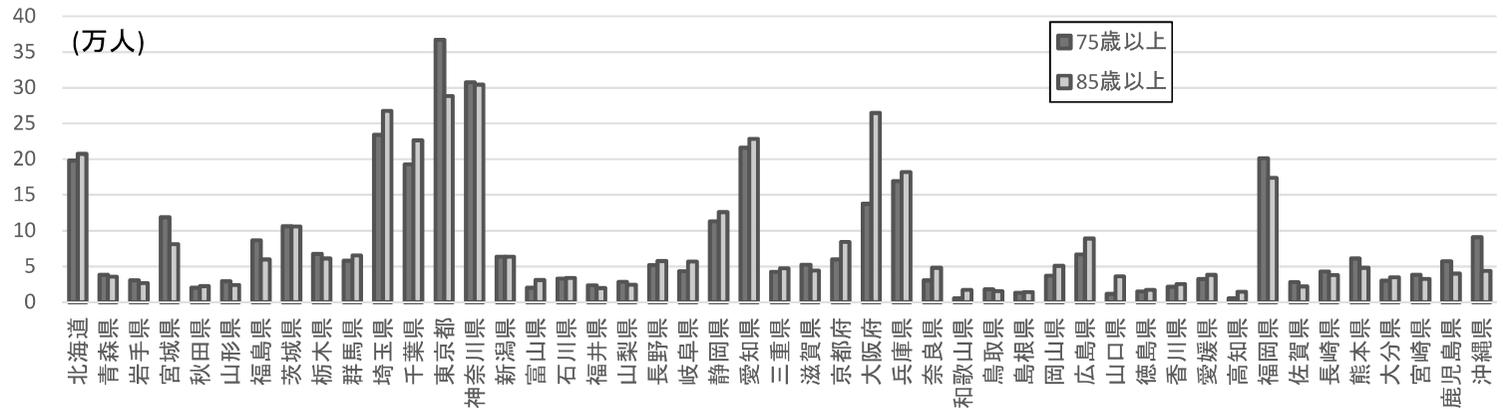
都道府県別の高齢化の状況(高齢者の増加数)

- 75歳以上人口の増加は東京、愛知、大阪圏において特に大きく、各地方の中心地域においても大きい。
- 2021年から、2025年の増加数と2040年の増加数を比較すると、2040年の増加数が大きい。
- 2021年から2040年の増加数については、85歳以上人口の伸びが大きい。

2021年から2025年の増加数



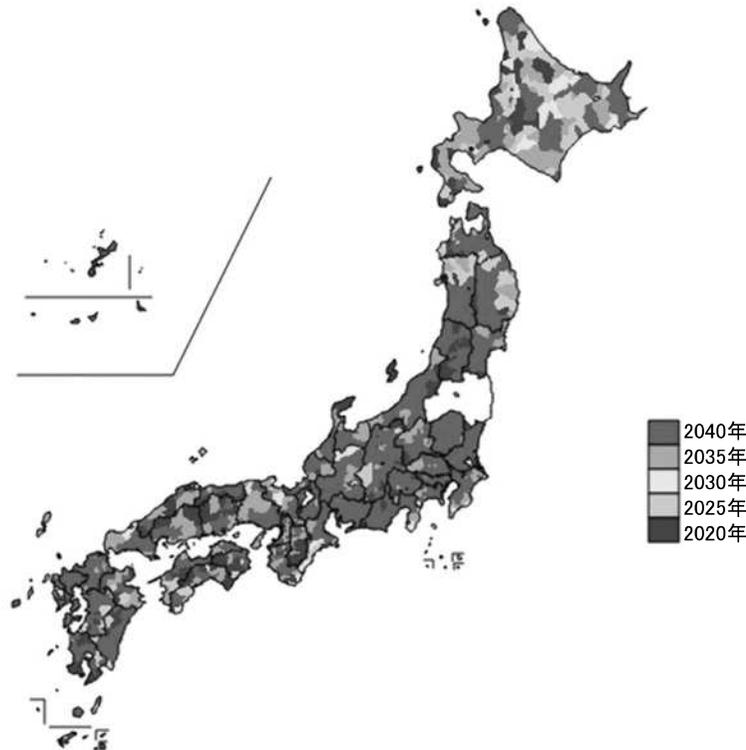
2021年から2040年の増加数



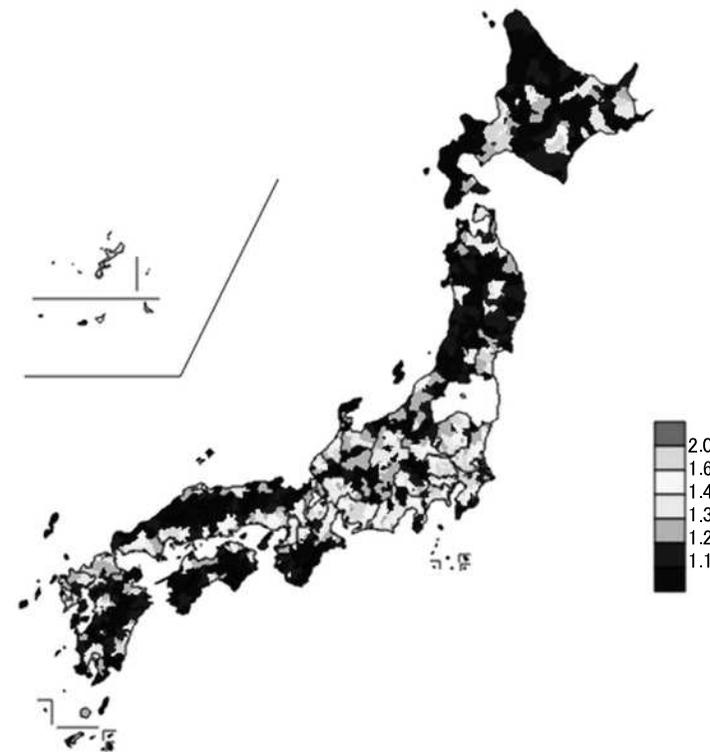
保険者別の介護サービス利用者数の見込み

- 各保険者(福島県内の保険者を除く)における、2040年までの介護サービス利用者数を推計すると、ピークを過ぎ減少に転じた保険者もある一方、都市部を中心に2040年まで増え続ける保険者が多い。
- また、最も利用者数が多くなる年の利用者数の2020年の利用者数との比(増加率)をみると、ほとんど増加しない保険者がある一方、2倍超となる保険者も存在する。

【保険者別 2040年までの間にサービス利用者数が最も多い年】



【保険者別 2040年までの間にサービス利用者数が最も多い年の利用者数の増加率】

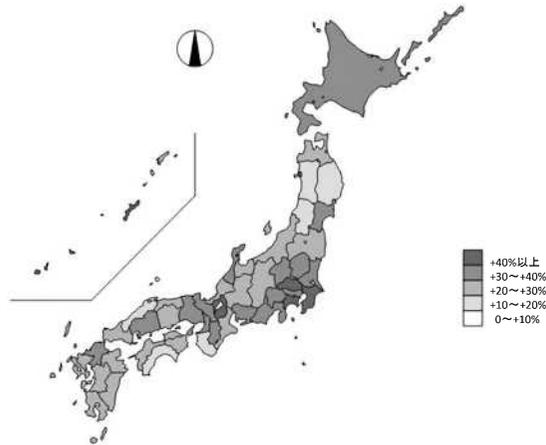


※ 2020年度介護保険事業状況報告(厚生労働省)、2019年度介護給付費等実態調査(厚生労働省・老健局特別集計)から、保険者別の年齢階級別・サービス類型別・要介護度別利用率を算出し、当該利用率に推計人口(日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)(国立社会保障・人口問題研究所)を乗じて、2020年以降5年毎に2040年までの保険者別の推計利用者数を作成(推計人口が算出されていない福島県内の保険者を除く)。

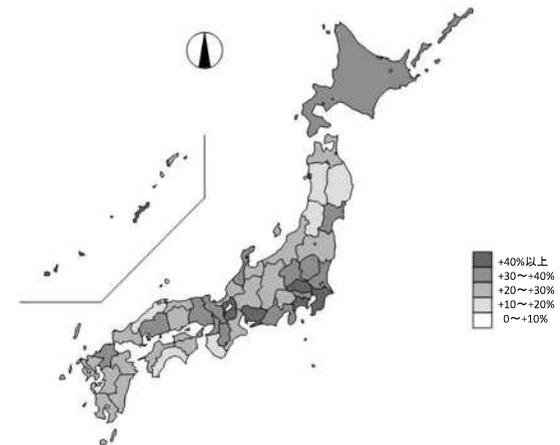
介護需要の変化 サービス種別の介護保険利用者数（増加率）

2025年利用者数に対する2040年の利用者数（増加率）

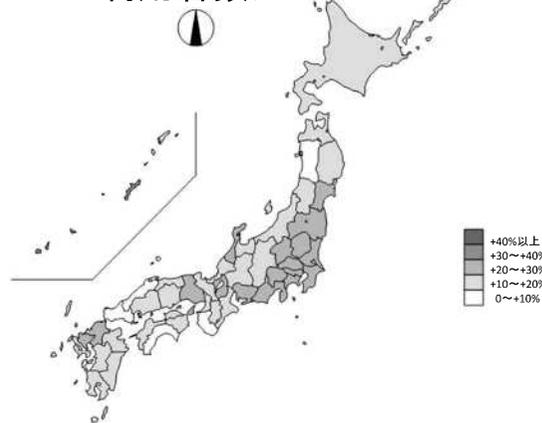
＜施設系サービス利用者数＞



＜居住系サービス利用者数＞



＜在宅系サービス利用者数＞



出典)内閣官房・内閣府・財務省・厚生労働省「2040年を見据えた社会保障の将来見通し(議論の素材)」(2018年5月)を基に推計

※ 2040年の介護サービス利用者数は、7期介護保険事業計画による2025年度までのサービス量の見込みを基礎として計算し、それ以降は年齢階級別のサービス利用率を2025時点で固定し、将来推計人口による被保険者数見込みに乗じて機械的に算出。

<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要
- 3 介護保険制度をとりまく状況
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて**
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

第8期 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（抜粋）①

<①2025年、2040年を見据えた基盤整備>

- 保険者ごとの介護サービス利用者数を推計すると、ピークを過ぎ減少に転じる保険者もあるが、都市部を中心に2040年まで増え続ける保険者も多く、各地域の状況に応じた介護サービス基盤の整備が重要である。
- 地域の介護需要のピーク時を視野に入れながら二千二十五年度の介護需要、サービスの種類ごとの量の見込みやそのために必要な保険料水準を推計し、持続可能な介護保険制度とするための中長期的な視点に立った市町村介護保険事業計画の策定が重要である（なお、介護需要及びサービスの種類ごとの量の見込みは、2040年度についても推計することが重要である。）。

<②在宅生活継続のためのサービス基盤整備>

- 要介護状態等となっても、可能な限り、住み慣れた地域において継続して日常生活を営むことができるよう指定地域密着型サービス等のサービスの提供や在宅と施設の連携等、地域における継続的な支援体制の整備を図ることが重要である。
その際、重度の要介護者、単身又は夫婦のみの高齢者世帯及び認知症の人の増加、働きながら要介護者等を在宅で介護している家族等の就労継続や負担軽減の必要性等を踏まえ、高齢者の日常生活全般を毎日複数回の柔軟なサービス提供により支えることが可能な定期巡回・随時対応型訪問介護看護、小規模多機能型居宅介護及び看護小規模多機能型居宅介護等の普及に当たっては、要介護者等をはじめ地域の住民やサービス事業所等を含めた地域全体に対して理解を図っていくことが重要である。

<③介護離職ゼロ実現に向けた整備>

- 「介護離職ゼロ」の実現に向けて、都市部では高齢者人口増加に備えた、特別養護老人ホーム等従来からの介護サービスに加え、特定施設入居者生活介護も含めた効果的な基盤整備を行い、人口減少が見込まれる地域では、関係サービスの連携や既存施設の有効活用等の工夫をこらしながら必要な介護サービスの機能を地域に残すことを考える必要がある。老朽化した施設の建て替えや必要な修繕を計画的に行うとともに、中長期的な人口構造の変化の見通しを踏まえながら、必要な介護サービスが提供されるよう、地域医療介護総合確保基金を活用し、地域を支えるという視点で介護基盤整備を進めていくことが重要である。

第8期 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（抜粋）②

<④特別養護老人ホームにおける入所申込者の状況を踏まえた整備>

- 入所申込者が多数存在する指定介護老人福祉施設や地域密着型介護老人福祉施設については、保険者である市町村において、入所申込みを行っている要介護者等のうち、介護の必要性や家族の状況等により、当該施設以外では生活が困難であり、真に入所が必要と判断される被保険者を適宜の方法で把握し、その状況も踏まえた上で、必要なサービスの種類ごとの量の見込みを定めること。

<⑤介護付き住まいの普及>

- 介護保険施設については、重度の要介護者に重点を置き、施設に入所した場合は施設での生活を居宅での生活に近いものとしていくとともに、これらと併せて、高齢者の多様なニーズに対応するため、サービス付き高齢者向け住宅や介護を受けながら住み続けることができるような介護付きの住まいの普及を図ることが重要である。
- 有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅が増加し、多様な介護ニーズの受け皿となっている状況を踏まえ、これらの設置状況等の情報を積極的に市町村に情報提供することが重要である。

<⑥医療計画との整合性の確保>

- 平成30年度以降、市町村介護保険事業計画、都道府県介護保険事業支援計画及び医療計画（略）の作成・見直しのサイクルが一致することとなる。病床の機能の分化及び連携の推進による効率的で質の高い医療提供体制の構築並びに在宅医療・介護の充実等の地域包括ケアシステムの構築が一体的に行われるよう、これらの計画の整合性を確保することが重要である。このため、都道府県や市町村の医療・介護担当者等の関係者による協議の場を開催し、より緊密な連携が図られるような体制整備を図っていくことが重要である。

当該協議の場においては、例えば、各都道府県において地域医療構想（略）が策定されていることも踏まえつつ、病床の機能の分化及び連携に伴い生じる、在宅医療等の新たなサービス必要量に関する整合性を確保することが重要であることから、市町村介護保険事業計画及び都道府県介護保険事業支援計画において掲げる介護のサービスの見込量と、医療計画において掲げる在宅医療の整備目標が整合的なものとなるよう、必要な事項についての協議を行うことが重要である。

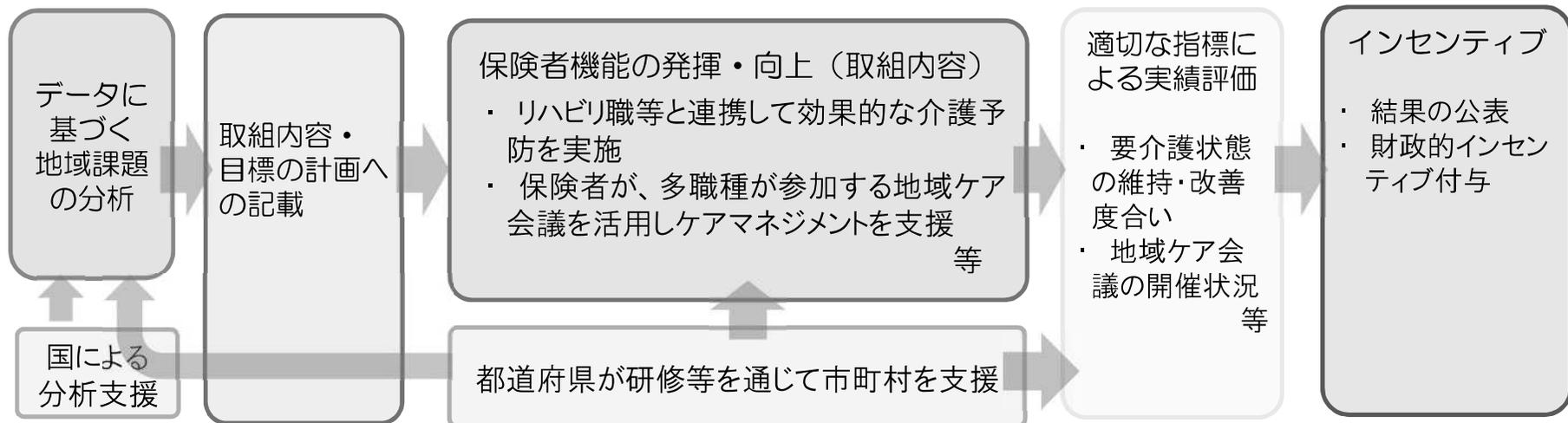
保険者機能の強化等による自立支援・重度化防止に向けた取組の推進

平成29年法改正による見直し内容 ～ 保険者機能の抜本強化 ～

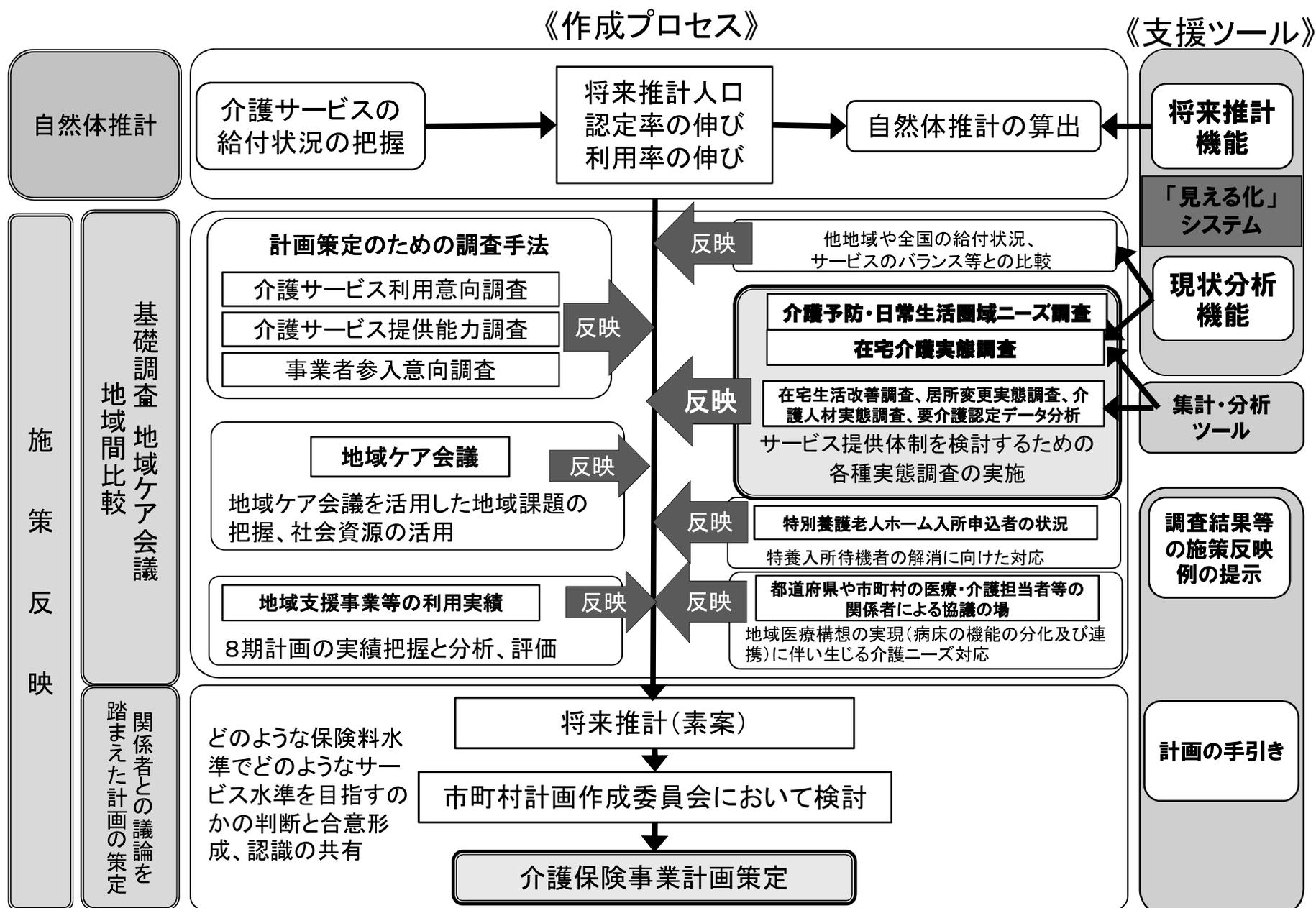
- 高齢化が進展する中で、地域包括ケアシステムを推進するとともに、制度の持続可能性を維持するためには、保険者が地域の課題を分析して、高齢者がその有する能力に応じた自立した生活を送っていただくための取組を進めることが必要。
- 全市町村が保険者機能を発揮して、自立支援・重度化防止に取り組むよう、
 - ① データに基づく課題分析と対応（取組内容・目標の介護保険事業（支援）計画への記載）
 - ② 適切な指標による実績評価
 - ③ インセンティブの付与を法律により制度化。

※主な法律事項

- ・介護保険事業（支援）計画の策定に当たり、国から提供されたデータの分析の実施
- ・介護保険事業（支援）計画に介護予防・重度化防止等の取組内容及び目標を記載
- ・都道府県による市町村支援の規定の整備
- ・介護保険事業（支援）計画に位置付けられた目標の達成状況についての公表及び報告
- ・財政的インセンティブの付与の規定の整備



第9期介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールイメージ R4.7.29



第9期介護保険事業(支援)計画に向けた調査の実施

介護保険法(第117条第5項)において市町村は、日常生活圏域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めることとされている。

<実施いただきたい調査>

- **介護予防・日常生活圏域ニーズ調査**については、地域の要支援者・総合事業対象者・一般高齢者の地域課題を把握するために重要であり、**実施していただきたい**。(基本指針参照)
- **在宅介護実態調査**については、介護離職を防止する観点から、「高齢者の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的として、主に在宅で要介護認定を受けている者を対象とした調査である。計画の作成にあたり関係者と議論する際の材料として有用であり**実施していただきたい**。(基本指針参照)

<実施を検討いただきたい調査>

- その他のサービス提供体制を検討するための各種実態把握調査(**在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査**)については、調査の実施・分析に必要な体制の確保に留意しつつ、**可能であれば実施を検討いただきたい**。
在宅生活の継続という観点からのビジョンを設定・検討されている市町村は、本調査が、住み慣れた地域での生活を支えるうえで有効な定期巡回・小多機・看多機等の地域密着型サービスのニーズの把握につながる観点を踏まえて検討いただきたい。

<留意点>

- **保険者機能強化推進交付金の令和5年度指標**では、計画作成にあたり①介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、②在宅介護実態調査、③その他の調査を実施しているかを、評価する予定であり、**調査結果の地域包括ケア「見える化システム」への登録予定も含めて評価することを検討している**。

介護保険法(平成9年法律第123号) (抄)

第117条第5項 市町村は、第2項第一号の規定により当該市町村が定める区域ごとにおける被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を正確に把握した上で、これらの事情を勘案して、市町村介護保険事業計画を作成するよう努めるものとする。

8期の基本指針(令和2年1月29日厚生労働省告示第29号) (抄)

第二 - 1 - 2 - (三) 調査の実施

市町村は、被保険者のサービスの利用に関する意向等を把握するとともに、自らが定める区域ごとに被保険者の心身の状況、その置かれている環境その他の事情等、要介護者等の実態に関する調査(以下「各種調査等」という。)の実施に努めるものとする。なお、その際は、特に、**介護予防・日常生活圏域ニーズ調査を活用することが重要である**。

また、**要介護状態等にある家族を介護するため離職すること(以下「介護離職」という。)を防止する観点から、働きながら介護に取り組む家族等や、今後の仕事と介護の両立に不安や悩みを持つ就業者の実情等の把握に努めるなど調査方法等の工夫を図ることが重要である**。

～中略～

さらに、これらの調査により定量的に把握された心身の状況が低下した被保険者の状況や働きながら介護に取り組む家族の状況等を参考として、生活支援サービスや介護予防事業の充実等の取組、介護離職の防止を含む家族等への支援の観点を踏まえた介護サービスの整備や、介護離職防止の観点から労働担当部局と連携した職場環境の改善に関する普及啓発等の取組を市町村介護保険事業計画に定めるとともに、それらの取組を勘案して要介護者等の人数やサービス量の見込みを定めることが望ましい。

第9期に向けた介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の実施

- 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査の調査項目は、第8期から変更ない。調査の実施の手引きを参考にして実施いただきたい。
- 調査結果は、地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、経年比較や他地域との地域間比較が可能となることから、データの登録をお願いしたい。

名称		(第7期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	(第8・9期)介護予防・日常生活圏域ニーズ調査
目的 (調査票の作成段階での想定)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用し</u>、地域の抱える課題を特定すること ・ 新しい介護予防・日常生活支援総合事業の管理・運営に活用すること ・ <u>介護保険事業計画における新総合事業部分の策定に活用すること</u> <div style="text-align: center;">  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 要介護状態になる前の高齢者のリスクや社会参加状況を把握することで、<u>地域診断に活用し</u>、地域の抱える課題を特定すること ・ <u>介護予防・日常生活支援総合事業の評価に活用すること</u> <div style="text-align: center;">  </div>
調査対象		要介護1～5以外の高齢者	
調査項目数		必須項目33問(見える化への登録、地域診断の活用を想定) オプション項目30問	必須項目35問 オプション項目29問
設 問 の 内 容	「リスクの発生状況」の把握	基本チェックリストで設定したものの「虚弱」高齢者を把握する項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ 運動器の機能低下 ・ 低栄養の傾向 ・ 口腔機能の低下 ・ 閉じこもり傾向 ・ 認知機能の低下
		その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ IADL／転倒リスク
	「社会資源」等の把握		<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア等への参加頻度 ・ たすけあいの状況 ・ 地域づくりへの参加意向 ・ 主観的幸福感 等
	その他		<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症にかかる相談窓口の認知度
標準的な実施方法		「実施の手引き」の提示	「実施の手引き」「活用の手引き」の提示
見える化システムへの登録		あり(標準的な実施方法により得られた必須項目への回答)	あり(標準的な実施方法により得られた必須項目、オプション項目への回答)

第9期に向けた在宅介護実態調査の実施

- 在宅介護実態調査の調査項目は、第8期から変更ない。調査の実施の手引き等を参考にして実施いただきたい。
- 調査結果は、地域包括ケア「見える化」システムに登録することにより、経年比較や他地域との地域間比較が可能となることから、データの登録をお願いしたい。

<在宅介護実態調査の概要>

事項	内容
目的	第7から期介護保険事業計画の策定において、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、「 <u>高齢者等の適切な在宅生活の継続</u> 」と「 <u>家族等介護者の就労継続</u> 」の実現に向けた <u>介護サービスの在り方を検討</u> することを目的とする
対象者	主に在宅で要支援・要介護認定を受けている方
調査手法	認定調査員による聞き取り調査、郵送調査(接続方式・非接続方式)からメリット・デメリットを踏まえ選択
調査項目	必須+オプション A票:ご本人むけ 問1~14 B票:主な介護者むけ 問1~5 ※自治体が調査項目を減らす場合であっても必要不可欠な5項目を抽出(注)。
支援ツール	・在宅介護実態調査 実施のための手引き ・在宅介護実態調査 活用のための手引き ・在宅介護実態調査の自動集計ツール_認定ソフト2021対応版 ※令和5年1月頃提供予定

(注)認定調査員の負担を軽減するため、仮に自治体において調査項目を減らす場合であっても、次の5項目は、介護する家族の負担感を把握するために必要不可欠であるため、調査項目として設定することが望ましいとしている。

A票 問1 世帯類型

B票 問1 介護者の勤務形態

A票 問2 介護者の介護の頻度

B票 問4 介護者の就労継続の見込み

A票 問10 施設等検討の状況

在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査の実施について

- 第8期では、新たに「施策反映のための手引き」を提示し、ニーズ調査や在宅介護実態調査を補完するものとして、新たに3つの調査(在宅生活改善調査、居所変更実態調査、介護人材実態調査)と要介護認定データを用いた地域分析ツールを提供している。
- 3つの調査は、「地域が目指すビジョン」に向けたサービス提供体制のあり方を検討するために、地域の実態把握を事業所に対するアンケートにより行うツールとして、例示しているもの。
- 各保険者が地域の実情に応じて必要な調査・設問等を選択して実施することが可能であり、第9期において調査内容は変更しない。
- 調査結果の施策への活用方法について、実際の活用状況を把握した上で、具体的に提示していく予定。

	調査・ツールの名称	調査・分析対象	主な目的
アンケート調査等	在宅生活改善調査	居宅介護支援事業所、小多機、看多機 (ケアマネジャー)	「(自宅等にお住まいの方)現在のサービス利用では、生活の維持が難しくなっている利用者」の実態を把握し、地域に不足する介護サービス等を検討
	居所変更実態調査	介護施設等 (サ高住・住宅型有料含む)	過去1年間の新規入居・退去の流れや、退去の理由などを把握することで、住み慣れた住まい等で暮らし続けるために必要な機能等を検討
	介護人材実態調査	介護事業所、介護施設等 (サ高住・住宅型有料含む)	介護人材の実態を個票で把握することにより、性別・年齢別・資格の有無別などの詳細な実態を把握し、介護人材の確保に向けて必要な取組等を検討
分析ツール	要介護認定データを用いた地域分析ツール	要介護認定データ	要介護認定データを活用し、地域ごとの要介護者の状態像等の比較を行うことができる、集計分析ツール(ExcelのVBAによる自動集計)

各保険者のビジョンや検討事項に合わせて、必要に応じて選択して実施することを想定

必要な情報を集める手段は、アンケート調査に限定されない。地域特性に応じて柔軟に選択



出典：介護保険事業計画における施策反映のための手引き
<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000532251.pdf>

介護保険事業計画作成、進捗管理の参考資料について

○地域包括ケア「見える化」システム等を活用した地域分析の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/file/05-Shingikai-12301000-Roukenkyoku-Soumuka/0000170568.pdf>

○介護保険事業（支援）計画の進捗管理の手引き

<https://www.mhlw.go.jp/content/12301000/000340994.pdf>

○自治体におけるPDCAサイクルの推進に関する調査研究事業 事例集

令和3年度老人保健健康増進等事業の中で、自治体においてPDCAサイクルの活用による取組が更に進むよう、事例集を作成しました。

・事例集

https://www.mri.co.jp/knowledge/pjt_related/roujinhoken/dia6ou0000044lk2-att/R3_003_3_casestudies.pdf

・報告書

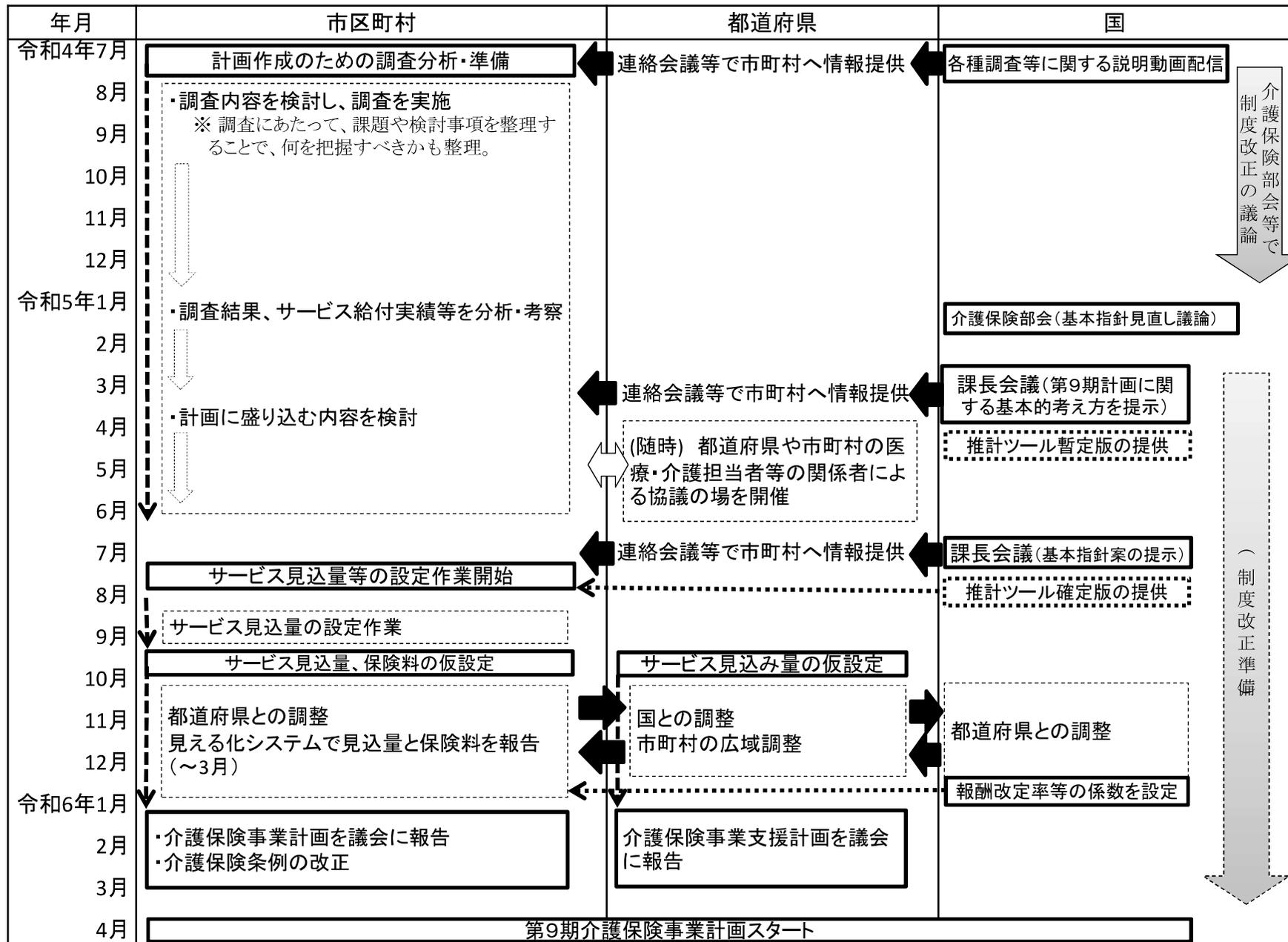
https://www.mri.co.jp/knowledge/pjt_related/roujinhoken/dia6ou0000044lk2-att/R3_003_2_report.pdf

※ 令和4年度老人保健健康増進等事業において、介護保険事業計画作成や進捗管理の一連のプロセスや計画に記載する内容の例などを整理した手引きを作成予定。

<説明内容>

- 1 第9期介護保険事業計画に向けた動きについて
- 2 介護保険事業(支援)計画の概要
- 3 介護保険制度をとりまく状況
- 4 介護保険事業計画の作成プロセスと支援ツールについて
- 5 9期計画作成に向けたスケジュール等について

第9期介護保険事業計画の作成に向けたスケジュール(R4.7.29)



第8期 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（抜粋）

第二 市町村介護保険事業計画の作成に関する事項

一 市町村介護保険事業計画の作成に関する基本的事項

3 市町村介護保険事業計画の作成のための体制の整備

市町村介護保険事業計画を作成するに当たっては、次に掲げる体制整備を図るとともに、現に保健医療サービス又は福祉サービスを利用している要介護者及びその家族等をはじめ被保険者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとする。

また、関係部局・課が相互に連携して作成に取り組むための体制の整備に関する状況、市町村介護保険事業計画作成委員会等の開催の経緯、市町村介護保険事業計画作成委員会や被保険者等の意見を反映させるために講じた措置の内容、都道府県との連携の状況等を市町村介護保険事業計画に示すことが重要である。

なお、複数の市町村による市町村介護保険事業計画の共同作成に取り組んだ場合は、その趣旨等を盛り込むことが重要である。

(一) 市町村関係部局相互間の連携

計画の検討、立案及び推進は、地域包括ケアシステム構築の推進に向けて極めて重要な過程であり、庁内一丸となって取り組むよう努めることが望ましい。具体的には、介護保険担当部局・課は、企画・総務部局、障害福祉部局等の民生担当部局、保健医療担当部局、住宅担当部局、労働担当部局、地域振興担当部局、農林水産担当部局、教育担当部局、防災担当部局、交通担当部局等の関係部局と連携することができる体制を整備するとともに、計画の検討、立案及び推進に当たっては相互に連絡を取り問題意識を共有し、協力して必要な施策に取り組むよう努めることが重要である。

また、必要に応じて、例えば、地域包括ケアシステムの構築に向けた庁内全体のプロジェクトチームを設置し、その中で計画の策定に向けた議論を行うこと等も考えられる。

(二) 市町村介護保険事業計画作成委員会等の開催

介護保険事業の運営及び地域包括ケアシステムの構築については、幅広い関係者の協力を得て、地域の課題や目指すべき方向性を共有し、地域の実情に応じたものとすることが重要である。

このため、学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、被保険者代表者(第一号被保険者及び第二号被保険者を代表する者をいう。以下同じ。)、介護給付等対象サービス利用者及びその家族、費用負担関係者等の幅広い関係者の意見を反映することが必要である。したがって、こうした幅広い関係者から構成される市町村介護保険事業計画作成委員会等を開催して意見集約をすることが重要である。この場合においては、事務を効率的に処理するため、既存の審議会等を活用しても差し支えない。

なお、市町村介護保険事業計画を作成する過程では、その他の専門家及び関係者の意見の反映並びに情報の公開にも配慮することが重要である。

第8期 介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施を確保するための基本的な指針（抜粋）

（三） 被保険者の意見の反映

市町村介護保険事業計画により示される介護給付等対象サービスの量の水準が保険料率の水準にも影響を与えることに鑑み、市町村は、市町村介護保険事業計画を作成しようとするときは、あらかじめ、被保険者の意見を反映させるために必要な措置を講ずるものとされている。

このため、市町村介護保険事業計画作成委員会等を設置するに当たっては、公募その他の適切な方法による被保険者代表者の参加に配慮すること。

また、被保険者としての地域住民の意見を反映させるため、地域における聞き取り調査の実施、公聴会の開催、自治会を単位とする懇談会の開催等の工夫を図ることが重要である。

（四） 都道府県との連携

市町村介護保険事業計画を作成する過程では、市町村と都道府県との間の連携を図ることが重要である。

具体的には、**都道府県は市町村介護保険事業計画の作成上の技術的事項についての必要な助言を行う役割や、介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備等に関する広域的調整を図る役割を有していることから、市町村は、市町村介護保険事業計画を作成するに当たっては、都道府県と意見を交換することが重要**である。

また、第一の三を踏まえ、市町村介護保険事業計画を策定するに当たっては、都道府県介護保険事業支援計画だけでなく、都道府県が定める地域医療構想を含む医療計画との整合性を図ることが重要であり、協議の場での協議等を通じて市町村と都道府県との間の連携を図ることが重要である。

加えて、都道府県の支援や助言を踏まえながら、保険者機能強化推進交付金等の評価結果を活用して、市町村の実情及び地域課題を分析することや、高齢者の自立支援及び重度化防止に向けた必要な取組を進めていくことが重要である。

業務の効率化の観点においても、市町村は都道府県と連携しながら、個々の申請様式・添付書類や手続きに関する簡素化、様式例の活用による標準化及びICT等の活用を進め、介護事業者及び自治体の業務効率化に取り組むことが重要である。

また、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅が増加し、多様な介護ニーズの受け皿となっている状況を踏まえ、将来に必要な介護サービス基盤の整備量の見込みを適切に定めるため、都道府県と連携してこれらの設置状況等必要な情報を積極的に把握することが重要である。

さらに、有料老人ホーム及びサービス付き高齢者向け住宅の質の確保を図ることが重要であり、居宅サービス等の提供状況の把握や要介護認定の過程等で未届けの有料老人ホームを確認した場合は、積極的に都道府県に情報提供するとともに、介護サービス相談員を積極的に活用することが重要である。

令和4年度 すこやかアンケート(高齢者調査)

(別紙2)

分類	旧	新
	問1 あなたや御家族の状況について	問1 あなたや御家族の状況について
→独自項目	Q1. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の年齢をお教えてください。	Q1. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の年齢をお教えてください。
→独自項目	Q2. あなたの性別をお教えてください。	Q2. あなたの性別をお教えてください。
→新規項目	新規	Q3. あなたは現在の地域(学区)に何年お住まいですか。
→必須項目	Q3. あなたの家族構成をお教えてください。	Q4. あなたの家族構成をお教えてください。
→独自項目	Q4. あなたは現在収入になる仕事をしていますか。	Q5. あなたは現在収入になる仕事をしていますか。
→独自項目	Q4-1. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。主な就労形態は、次のどれですか。	Q5-1. Q5で「1. はい」と回答した方にお聞きします。主な就労形態は、次のどれですか。
→高齢社会対策実態調査	Q4-2. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。働いている主な理由は何ですか。	Q5-2. Q5で「1. はい」と回答した方にお聞きします。働いている主な理由は何ですか。
→高齢社会対策実態調査	Q4-3. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。何歳まで働きたいですか。	Q5-3. Q5で「1. はい」と回答した方にお聞きします。何歳まで働きたいですか。
→高齢社会対策実態調査	Q4-4. Q4で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。その主な理由はなんですか。	Q5-4. Q5で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。その主な理由はなんですか。
→独自項目	Q5. あなたは生活費をどのようにして得ていますか。	削除
→独自項目	Q6. あなたの個人の年間総収入(年金収入を含む。税込。)はどのくらいですか。	Q6. あなたの個人の年間総収入(年金収入を含む。税込。)はどのくらいですか。
→必須項目	Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
→独自項目	Q8. あなたの要介護認定区分は次のどれにあてはまりますか。	Q8. あなたの要介護認定区分は次のどれにあてはまりますか。
→必須項目	Q9. あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。	Q9. あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。
→オプション項目	Q9-1. Q9で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない。」又は、「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。	Q9-1. Q9で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない。」又は、「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。
→オプション項目	Q9-2. Q9で「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。主にどなたの介護、介助を受けていますか。	Q9-2. Q9で「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。主にどなたの介護、介助を受けていますか。
	問2 お住まいについて	
→オプション項目	Q1. あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。	削除
→独自項目	Q1-1. Q1で「3. 民間賃貸住宅(一戸建て)」～「9. その他」と回答した方にお聞きします。現在のお住まいに係る住居費(月額、共益費含む。)は、次のどれにあたりますか。	削除
→独自項目	Q2. あなたの現在のお住まいについてお困りのことは、次のどれですか。	削除
	問3 運動・外出について	問2 運動・外出について
→必須項目	Q1. あなたは階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	Q1. あなたは階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。
→必須項目	Q2. あなたは椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	Q2. あなたは椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。
→必須項目	Q3. あなたは15分位続けて歩いていますか。	Q3. あなたは15分位続けて歩いていますか。
→必須項目	Q4. あなたは週に1回以上は外出していますか。	Q4. あなたは週に1回以上は外出していますか。
→必須項目	Q5. あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。	Q5. あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。
→オプション項目	Q6. あなたは外出を控えていますか。	削除
→オプション項目	Q6-1. Q6で「1. はい」と回答した方にお聞きします。外出を控えている理由は、次のどれですか。	削除
→オプション項目	Q7. あなたが外出する際の移動手段は何ですか。	削除
	問4 転倒について	問3 転倒について
→必須項目	Q1. あなたは過去1年間に転んだ経験がありますか。	Q1. あなたは過去1年間に転んだ経験がありますか。
→必須項目	Q2. あなたは転倒に対する不安は大きいですか。	Q2. あなたは転倒に対する不安は大きいですか。
	問5 口腔・栄養について	問4 口腔・栄養について
→オプション項目	Q1. あなたは6箇月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	Q1. あなたは6箇月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。
→必須項目	Q2. 身長 体重	Q2. 身長 体重
→必須項目	Q3. あなたは半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	Q3. あなたは半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。
→オプション項目	Q4. あなたはお茶や汁物等でむせることがありますか。	Q4. あなたはお茶や汁物等でむせることがありますか。
→オプション項目	Q5. あなたは口の渇きが気になりますか。	Q5. あなたは口の渇きが気になりますか。
→オプション項目	Q6. あなたは歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。	Q6. あなたは歯磨き(人にやってもらう場合も含む)を毎日していますか。
→必須項目	Q7. あなたの歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)	Q7. あなたの歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。)
→オプション項目	Q7-1. あなたの歯の噛み合わせは良いですか。	Q7-1. あなたの歯の噛み合わせは良いですか。
→オプション項目	Q7-2. Q7で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」又は、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。	Q7-2. Q7で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」又は、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。
→必須項目	Q8. あなたはどなたかと食事をともにする機会はありますか。	Q8. あなたはどなたかと食事をともにする機会はありますか。
	問6 物忘れについて	問5 物忘れについて
→必須項目	Q1. あなたは物忘れが多いと感じますか。	Q1. あなたは物忘れが多いと感じますか。
→オプション項目	Q2. あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。	Q2. あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。
→オプション項目	Q3. あなたは今日が何月何日かわからない時がありますか。	Q3. あなたは今日が何月何日かわからない時がありますか。
	問7 日常生活について	問6 日常生活について
→必須項目	Q1. あなたはバスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可)	Q1. あなたはバスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可)
→必須項目	Q2. あなたは自分で食品・日用品の買物をしていますか。	Q2. あなたは自分で食品・日用品の買物をしていますか。
→必須項目	Q3. あなたは自分で食事の用意をしていますか。	Q3. あなたは自分で食事の用意をしていますか。
→必須項目	Q4. あなたは自分で請求書の支払いをしていますか。	Q4. あなたは自分で請求書の支払いをしていますか。
→必須項目	Q5. あなたは自分で預貯金の出し入れをしていますか。	Q5. あなたは自分で預貯金の出し入れをしていますか。
→独自項目	Q6. 現在、あなたが日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。	Q6. 現在、あなたが日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。

令和4年度 すこやかアンケート(高齢者調査)

(別紙2)

分類	旧	新
	問8 社会参加について	問7 社会参加について
→オプション項目	Q1. あなたは年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。	Q1. あなたは年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。
→オプション項目	Q2. あなたは新聞を読んでいますか。	Q2. あなたは新聞を読んでいますか。
→オプション項目	Q3. あなたは本や雑誌を読んでいますか。	Q3. あなたは本や雑誌を読んでいますか。
→独自項目 (R1追加)	Q4. あなたはパソコンを使用されていますか。	Q4. あなたはパソコンを使用されていますか。
→独自項目 (R1追加)	Q5. あなたは携帯電話・PHSを使用されていますか。	Q5. あなたは携帯電話・PHSを使用されていますか（スマートフォンを除く）。
→独自項目 (R1追加)	Q6. あなたはスマートフォンを使用されていますか。	Q6. あなたはスマートフォンを使用されていますか。
→オプション項目	Q7. あなたは健康についての記事や番組に関心がありますか。	Q7. あなたは健康についての記事や番組に関心がありますか。
→オプション項目	Q8. あなたは友人の家を訪ねていますか。	Q8. あなたは友人の家を訪ねていますか。
→オプション項目	Q9. あなたは家族や友人の相談にのっていますか。	Q9. あなたは家族や友人の相談にのっていますか。
→オプション項目	Q10. あなたは病人を見舞うことができますか。	Q10. あなたは病人を見舞うことができますか。
→オプション項目	Q11. あなたは若い人に自分から話しかけることがありますか。	Q11. あなたは若い人に自分から話しかけることがありますか。
→オプション項目	Q12. あなたは趣味がありますか。	削除
→オプション項目	Q13. あなたは生きがいがありますか。	削除
	Q14. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。	Q12. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
→必須項目	(1) ボランティアのグループ	(1) ボランティアのグループ
→必須項目	(2) スポーツ関係のグループやクラブ	(2) スポーツ関係のグループやクラブ
→必須項目	(3) 趣味関係のグループ	(3) 趣味関係のグループ
→必須項目	(4) 学習・教養サークル	(4) 学習・教養サークル
→必須項目 (R1追加)	(5) 介護予防のための通いの場	(5) 介護予防のための通いの場（健康長寿サロン、健康すこやか学級、老人福祉センター、公園体操など）
→必須項目	(6) 老人クラブ	(6) 老人クラブ
→必須項目	(7) 町内会・自治会	(7) 町内会・自治会
→必須項目	(8) 収入のある仕事	(8) 収入のある仕事
→必須項目	Q15. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。	Q13. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
→必須項目	Q16. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。	Q14. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。
	Q17. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。	Q15. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
→必須項目	(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人	(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人
→必須項目	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人
→必須項目	(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
→必須項目	(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人	(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人
→オプション項目	Q18. あなたが家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	削除
→独自項目	Q19. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また、相談したことはありますか。	Q16. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また、相談したことはありますか。
	Q20. あなたの友人関係についておうかがいします。	削除
→オプション項目	(1) あなたが友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	削除
→オプション項目	(2) あなたはこの1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。	削除
→オプション項目	(3) あなたがよく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。	削除
	Q21. 近所づきあい・外出に関することについておうかがいします。	Q17. 近所づきあい・外出に関することについておうかがいします。
→高齢社会対策実態調査	(1) あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。	(1) あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。
→高齢社会対策実態調査	(2) あなた自身が御近所に頼むことができそうなことがありますか。	削除
	問9 健康について	問8 健康について
→必須項目	Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。	Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。
→必須項目	Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。	Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。
→高齢社会対策実態調査	「問11 在宅療養について」Q1を移動	Q3. あなたには、気軽に相談でき、普段から診察を受ける、決まった「1. かかりつけ医」「2. かかりつけ歯科医」「3. かかりつけ薬剤師（薬局）」がいますか。
→独自項目	Q3. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。	Q4. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。
→新規項目	新規	Q5. あらかじめ、かかりつけ歯科医等の歯科医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問歯科医療といいます。あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。
→オプション項目	Q4. あなたはお酒を飲みますか。	Q6. あなたはお酒を飲みますか。
→必須項目	Q5. あなたはタバコを吸っていますか。	Q7. あなたはタバコを吸っていますか。
→必須項目	Q6. あなたは現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）。	Q8. あなたは現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）。
	Q7. あなたの心身の状況についておうかがいします。	Q9. あなたの心身の状況についておうかがいします。
→必須項目	(1) この1箇月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	(1) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
→必須項目	(2) この1箇月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	(2) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。
	問10 健康づくりや介護予防、見守りについて	問9 健康づくりや介護予防、見守りについて
→高齢社会対策実態調査	Q1. あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。	Q1. あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。
→高齢社会対策実態調査	Q2. あなたは、地域の高齢者の見守り（安否確認や話し相手等）をしていますか。	削除
→高齢社会対策実態調査	Q3. 地域の方（民生・児童委員や御近所の方）から見守りを受けたいと思いますか。	削除
→高齢社会対策実態調査	Q3-1. Q3「2. 受けたくない」と回答した方にお聞きします。今後、どういう状況になったら、地域の方の見守りを受けたいと思いますか。	削除
→新規項目	新規	Q2. あなたは、緊急時の見守り・駆け付けサービスを利用していますか。（京都市の緊急通報システム事業を除く）

令和4年度 すこやかアンケート(高齢者調査)

(別紙2)

分類	旧	新
	問11 在宅療養について	問10 在宅療養について
→高齢社会対策実態調査	Q1. あなたには、気軽に相談でき、普段から診察を受ける、決まった「1. かかりつけ医」「2. かかりつけ歯科医」「3. かかりつけ薬剤師(薬局)」がいますか。	「問8 健康について」Q3に移動
→高齢社会対策実態調査	Q2. もし、あなたが病気や古い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。	Q1. もし、あなたが病気や古い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。
	問12 人生の終い支度について	問11 人生の終い支度について
→高齢社会対策実態調査	Q1. もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかを周囲の人と話し合っていますか。	(統合) Q1. もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護を受けたいかや、財産の相続や葬儀等をどうして欲しいか、周囲の人と話し合っていますか。
→高齢社会対策実態調査	Q2. あなたが亡くなった後の財産の相続や葬儀等をどうしてほしいかを記した文書を作成していますか。	Q2. あなたが亡くなった後の葬儀や家財の処分をしてくれる方はいますか。
→新規項目	新規	
	問13 認知症について	問12 認知症について
→必須項目 (R1追加)	Q1. あなたは認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。	Q1. あなたは認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか。
→独自項目 (R1追加)	Q2. あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。	Q2. あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。
→必須項目 (R1追加)	Q3. あなたは認知症の方を支援する機関や取組について知っていますか。	Q3. あなたは認知症の方を支援する機関や取組について知っていますか。
→独自項目 (R1追加)	Q4. あなたが認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。	Q4. あなたが認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。
	問14 介護保険制度等について	問13 介護保険制度等について
→独自項目	Q1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。	Q1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。
→独自項目	Q2. あなたの介護保険料の「段階区分」は次のどれですか。	削除
→独自項目	Q3. あなたは、今後も住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。	Q2. あなたは、今後も住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。
→独自項目	Q4. あなたはもし、御自身に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。	Q3. あなたはもし、御自身に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。
→独自項目	Q4-1. Q4で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。	Q3-1. Q3で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。
→独自項目	Q5. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。	Q4. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。
→独自項目	Q6. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。	Q5. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。
→新規項目	新規	Q6. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。
→新規項目	新規	Q7. 任意後見制度とは、成年後見制度の1つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下したあと、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。

令和4年度 すこやかアンケート(若年者調査)

(別紙2)

分類	旧	新
	問1 あなたや御家族の状況について	問1 あなたや御家族の状況について
→独自項目	Q1. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の年齢をお教えてください。	Q1. あなた(あて名の御本人。以下の問も同じです。)の年齢をお教えてください。
→独自項目	Q2. あなたの性別をお教えてください。	Q2. あなたの性別をお教えてください。
→独自項目	Q3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。	Q3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。
→新規項目	新規	Q4. あなたは現在の地域(学区)に何年お住まいですか。
→独自項目	Q4. あなたの同居者(家族)の構成をお教えてください。	Q5. あなたの同居者(家族)の構成をお教えてください。
→独自項目	Q4-1. 子がおられる方にお聞きします。子と同居したい(し続けたい)ですか。	削除
→独自項目	Q4-2. 子がおられる方で、子と同居されていない方にお聞きします。子はどこに住んでおられますか。	削除
→独自項目	Q5. あなたは生活費をどのようにして得ていますか。	削除
→独自項目	Q6. あなたの世帯の年間総収入(年金収入を含む。税込)はどのくらいですか。	Q6. あなたの世帯の年間総収入(年金収入を含む。税込)はどのくらいですか。
→独自項目	Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。	Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。
	問2 お住まいについて	
→独自項目	Q1. あなたの現在のお住まいは、次のどれにあたりますか。	削除
→独自項目	Q1-1. Q1で「3. 民間賃貸住宅(一戸建て)」～「9. その他」と回答した方(持ち家以外にお住まいの方)にお聞きします。現在のお住まいに係る住居費(月額、共益費含む。)は、次のどれにあたりますか。	削除
→独自項目	Q2. あなたの現在のお住まいについて困りのことは、次のどれですか。	削除
	問3 健康について	問2 健康について
→独自項目	Q1. あなたは普段、御自分で健康だと思えますか。	Q1. あなたは普段、御自分で健康だと思えますか。
→独自項目	Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。	Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。
→独自項目	Q3. あなたはふだんから健康について相談や指導を受けられる以下のような人はいますか。	削除
→独自項目	Q3-1. Q3(1)でかかりつけ医が「1. いる」と回答した方にお聞きします。かかりつけ医はどのような方ですか。	削除
→独自項目	Q4. あなたは定期的に健康診断を受診していますか。	Q3. あなたは定期的に健康診断を受診していますか。
→独自項目	Q5. あなたは定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか。	Q4. あなたは定期的に歯科受診(健診を含む)をしていますか。
→独自項目	Q6. あなたは以下のような病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。また行っていない場合は、今後どのように考えていますか。	Q5. あなたは以下のような病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。また行っていない場合は、今後どのように考えていますか。
→独自項目	Q7. あなたはお酒を飲みますか。	Q6. あなたはお酒を飲みますか。
→独自項目	Q8. あなたはタバコを吸っていますか。	Q7. あなたはタバコを吸っていますか。
→独自項目	Q9. あなたのここ2週間の心身の状況についておうかがいします。	Q8. あなたのここ2週間の心身の状況についておうかがいします。
	問4 日常生活等について	
→独自項目	Q1. あなたは周りの人から「いつも同仕事を聞く」などの物忘れがあるとされますか。	削除
→独自項目	Q2. あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。	削除
→独自項目	Q3. あなたは今日が何月何日かわからない時がありますか。	削除
→独自項目	Q4. あなたは今の生活で何か困っていることがありますか。	削除
→独自項目	Q5. 介護予防とは、なるべく要介護状態にならないように、また、介護が必要な人もそれ以上状態を悪化させないようにする取組のことです。あなたはこのことについて御存知でしたか。また、介護予防を実践していますか。	削除
→独自項目	Q6. あなたは日ごろ、御自分の心身の変化(足腰のおとろえなど)に気を配り、早めに改善していますか。	削除
	問5 介護・介助に対する意識等について	問3 介護・介助に対する意識等について
→独自項目 (R1新規)	Q1. あなたは認知症(若年性認知症含む)の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。	Q1. あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。
→新規項目	新規	Q2. あなたは65歳以下で発症する認知症である「若年性認知症」について知っていますか。
→新規項目	新規	Q3. あなたは若年性認知症の症状や若年性認知症の方への対応等について学んだことはありますか。
→独自項目	Q2. 若年性認知症とは65歳未満で発症する認知症のことです。あなたは若年性認知症の方を支援する機関や取組について知っていますか。	Q4. あなたは若年性認知症の方の相談窓口や、支援機関、取組について知っていますか。
→独自項目	Q3. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思えますか。	Q5. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思えますか。
→独自項目	Q4. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。	「問6 介護保険制度について」Q4に移動
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q5. あなたは介護疲れなどによる高齢者への虐待に気づいた場合の対応(相談窓口等)について知っていますか。	削除
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q6. 介護疲れなどによる高齢者虐待を未然に防ぐためにどのような支援があればよいと思えますか。	削除
→独自項目	Q7. あなたは、現在、家族の介護をしていますか。	Q6. あなたは、現在、家族の介護をしていますか。
→独自項目	Q8. Q7で「1. している」と回答した方にお聞きします。現在の勤務形態について、御回答ください。	Q7. Q6で「1. している」と回答した方にお聞きします。現在の勤務形態について、御回答ください。
→独自項目	Q8-1. Q8で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。	Q7-1. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。
→独自項目	Q8-2. Q8で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。	Q7-2. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。
→独自項目	Q8-3. Q8で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	Q7-3. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
→独自項目	Q9. あなたが現在の生活を継続していくに当たって、不安を感じる介護等について、御回答ください(現状で行っているか否かは問いません。)	Q8. あなたが現在の生活を継続していくに当たって、不安を感じる介護等について、御回答ください(現状で行っているか否かは問いません。)
→独自項目	Q10. あなたは、介護について誰かに相談していますか。	削除
→新規項目	新規	Q9. あなたは、介護休業制度を知っていますか。
→独自項目	Q11. あなたは、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思えますか。	Q10. あなたは、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思えますか。
→独自項目	Q12. あなたは介護と仕事を両立するためには、企業等にどのような支援策があれば良いと思えますか。	Q11. あなたは、介護と仕事を両立するためには、企業等にどのような支援策があれば良いと思えますか。
→新規項目	新規	Q12. あなたは介護サービスの利用が必要になった際の利用方法を知っていますか。
→新規項目	新規	Q13. あなたは介護が必要になった場合の相談先を知っていますか。

令和4年度 すこやかアンケート(若年者調査)

(別紙2)

分類	旧	新
	問6 社会参加について	問4 社会参加について
→独自項目	Q1. あなたは趣味がありますか。	削除
→独自項目	Q2. あなたは生きがいがありますか。	削除
→独自項目	Q3. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。	Q1. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
→独自項目	Q4. あなたは以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。	Q2. あなたは以下のような活動(社会参加活動や仕事)をどのくらいの頻度でしていますか。
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q5. あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。	Q3. あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。
	Q6. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。	Q4. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
→独自項目	(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人	(1) あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人
→独自項目	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人	(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人
→独自項目	(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人	(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人
→独自項目	(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人	(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人
→独自項目	Q7. あなたが家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。	削除
→独自項目	Q8. あなたは地域包括支援センター(愛称:高齢サポート)を知っていますか。	Q5. あなたは地域包括支援センター(愛称:高齢サポート)を知っていますか。
	Q9. あなたの友人関係についておうかがいします。	削除
→独自項目	(1) あなたが友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。	削除
→独自項目	(2) あなたはこの1箇月間、何人の友人・知人と会いましたか。同じ人には何度会っても1人と数えることとします。	削除
→独自項目	(3) あなたがよく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。	削除
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q10. あなた自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか。	Q6. あなた自身がご近所で手助けや協力ができることがありますか。
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q11. あなた自身がご近所に頼むことができそうなことがありますか。	削除
	問7 高齢者との関わりについて	削除
→独自項目	Q1. あなたは高齢の親や祖父母との同居経験がありますか。	削除
→独自項目	Q2. あなたは別居している親や祖父母と行き来したことがありますか。	削除
→独自項目	Q3. あなたは職場で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。	削除
→独自項目	Q4. あなたは地域で日常的に高齢者と交流を持ったことがありますか。	削除
→独自項目	Q5. あなたはボランティア活動などでの高齢者との交流がありますか。	削除
→独自項目	Q6. あなたは介護を必要とする高齢者を世話した経験がありますか。	削除
→独自項目	Q7. あなたは人生の先輩として尊敬できる高齢者との交流を経験したことがありますか。	削除
→独自項目	Q8. あなたは本、テレビを通じて高齢者問題を考えたことがありますか。	削除
→独自項目	Q9. あなたは認知症の方と関わった経験がありますか。	削除
	問8 高齢期について	問5 高齢期について
→独自項目	Q1. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。	Q1. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。
→独自項目	Q1-1. Q1で「2. 不安を感じる」と回答した方にお聞きします。どんなことに不安を感じますか。	Q1-1. Q1で「2. 不安を感じる」と回答した方にお聞きします。どんなことに不安を感じますか。
→独自項目	Q2. あなたは老後のための準備として必要なものは何だと思えますか。	削除
→独自項目	Q3. あなたは老後のための準備として、現在すでに行っていることはありますか。	削除
→独自項目	Q4. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。	Q2. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。
→独自項目	Q4-1. Q4で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。	Q2-1. Q2で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。
→独自項目	Q5. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。	削除
	問9 介護保険制度について	問6 介護保険制度について
→独自項目	Q1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。	Q1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。
→独自項目	Q2. あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。	Q2. あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。
→独自項目	Q3. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。	Q3. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。
→高齢者問題に関する市民意見調査	Q4. 介護保険制度によってどのような効果があったと考えますか。	削除
→独自項目	「問5 介護・介助に対する意識等について」Q4を移動	Q4. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。
→新規項目	新規	Q5. 任意後見制度とは、成年後見制度の2つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約して置き、本人の判断能力が低下したあと、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。

令和4年度 すこやかアンケート(在宅介護実態調査)

(別紙2)

(本人向け)

分類	旧	新
	○ あなた（あて名の御本人）の状況について、お伺いします。	○ あなた（あて名の御本人）の状況について、お伺いします。
→基本調査項目	Q1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。	Q1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。
→基本調査項目	Q2. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の世帯類型について、御回答ください。	Q2. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の世帯類型について、御回答ください。
→基本調査項目	Q3. あなたの性別について、御回答ください。	Q3. あなたの性別について、御回答ください。
→基本調査項目	Q4. あなたの年齢について、御回答ください。	Q4. あなたの年齢について、御回答ください。
→基本調査項目	Q5. あなたの要介護度について、御回答ください。	Q5. あなたの要介護度について、御回答ください。
→基本調査項目	Q6. あなたの現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、御回答ください。	Q6. あなたの現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、御回答ください。
→オプション項目	Q7. あなたが、現在抱えている傷病について、御回答ください。	Q7. あなたが、現在抱えている傷病について、御回答ください。
→基本調査項目	Q8. あなたが令和元年11月の1箇月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。	Q8. あなたが令和4年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。
→基本調査項目	Q8-1. Q8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和元年11月の1箇月間の利用状況を御回答ください。対象の介護保険サービスを利用していない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。	Q8-1. Q8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月の間の利用状況を御回答ください。対象の介護保険サービスを利用していない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。
→オプション項目	Q8-2. Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。	Q8-2. Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。
→オプション項目	Q9. あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、御回答ください。	Q9. あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、御回答ください。
→オプション項目	Q10. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。）について、御回答ください。	Q10. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。）について、御回答ください。
→オプション項目	Q11. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。	Q11. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。
→独自項目（R1新規）	Q12. あらかじめ、かかりつけ歯科医等の歯科医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問歯科医療といいます。あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。	Q12. あらかじめ、かかりつけ歯科医等の歯科医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問歯科医療といいます。あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。
→基本調査項目	Q13. あなたに対する御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子供や親族等からの介護を含む。）。	Q13. あなたに対する御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子供や親族等からの介護を含む。）。
→新規項目	新規	Q14. あなたは18歳未満の御家族や御親族の方から介護を受けておられますか。

(介護者向け)

分類	旧	新
	○ 主な介護者の方にお伺いします	○ 主な介護者の方にお伺いします
→独自項目	Q1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。	Q1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。
→基本調査項目	Q2. 御家族や御親族の中で、御本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）。※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。	Q2. 御家族や御親族の中で、御本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）。※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。
→オプション項目	Q3. 主な介護者の方は、どなたですか。	Q3. 主な介護者の方は、どなたですか。
→オプション項目	Q4. 主な介護者の方の性別について御回答ください。	Q4. 主な介護者の方の性別について御回答ください。
→基本調査項目	Q5. 主な介護者の方の年齢について御回答ください。	Q5. 主な介護者の方の年齢について御回答ください。
→オプション項目	Q6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について御回答ください。	Q6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について御回答ください。
→基本調査項目	Q7. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について御回答ください（現状で行っているか否かは問いません。）。	Q7. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について御回答ください（現状で行っているか否かは問いません。）。
→基本調査項目	Q8. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、御回答ください。	Q8. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、御回答ください。
→基本調査項目	Q8-1. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。	Q8-1. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。
→オプション項目	Q8-2. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。	Q8-2. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思えますか。
→基本調査項目	Q8-3. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。	Q8-3. Q8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。
→新規項目	新規	Q9. 主な介護者の方は18歳未満の子供がいますか。
→新規項目	新規	Q10. 介護を受けている方（本調査のあて名の方）の、介護に使用される紙おむつの使用量について御回答ください。

介護サービス事業者に関するアンケート

(別紙2)

分類	旧	新
	○ 貴事業所の概要についてお聞きします。	○ 貴事業所の概要についてお聞きします。
→独自項目	問1 貴事業所における提供サービスについて、番号を○で囲んでください。また、併設事業所※がある場合は、番号を△で囲んでください。(令和元年11月1日現在の状況でお答えください)	問1 貴事業所における提供サービスについて、番号を○で囲んでください。(令和4年11月1日現在の状況でお答えください)
→独自項目	問2 貴事業所における従業者数を御記入ください。(令和元年11月1日現在の状況でお答えください)	問2 貴事業所における従業者数を御記入ください。(令和4年11月1日現在の状況でお答えください)
→独自項目	問3 貴事業所において、サービスを利用されている方について、御記入ください。	問3 貴事業所において、サービスを利用されている方について、御記入ください。
→独自項目	問3-2 貴事業所における平成30年4月から平成31年3月までの月平均の利用者数について御記入ください。(問3の①で定員を御記入いただいた方のみ御回答ください。)	問3-1 貴事業所における令和3年4月から令和4年3月までの月平均の利用者数について御記入ください。
→独自項目	問4 問3②の利用者数について、要介護度別・居住地別の人数を御記入ください。	問4 問3②の利用者数について、要介護度別・居住地別の人数を御記入ください。
→独自項目	問4-2 問3②の利用者数について、認知症高齢者の日常生活自立度別・居住地別の人数を御記入ください。	問4-1 問3②の利用者数について、認知症高齢者の日常生活自立度別・居住地別の人数を御記入ください。
→独自項目	問5 貴事業所における利用者の確保状況について、3年前と比較して変化がある場合は、その違いについてお答えください。	問5 貴事業所における利用者の確保状況について、3年前と比較して変化がある場合は、その違いについてお答えください。
→独自項目	問5-2 問5の回答を選択した理由をご記入ください。	問5-1 問5の回答を選択した理由をご記入ください。
→新規項目	新規	問5-2 併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の専用床をお持ちの事業所にお聞きします。併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の利用状況は、3年前と比較してどのように変化していますか。
→独自項目	問6 貴事業所における3年後の利用者の確保は、現在と比較してどのようになるとお考えですか。	問6 貴事業所における3年後の利用者の確保は、現在と比較してどのようになるとお考えですか。
→独自項目	問6-2 問6の回答を選択した理由を御記入ください。	問6-1 問6の回答を選択した理由を御記入ください。
→新規項目	新規	問6-2 併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の専用床をお持ちの事業所にお聞きします。併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護における3年後の利用状況は、現在と比較してどのようになるとお考えですか。
→新規項目	新規	問6-3 問6-2の回答を選択した理由を御記入ください。
→独自項目	○ 施設・居宅系サービス事業者の方にお伺いします。	削除
→独自項目	問7 入所(入居)期間別の入所(入居)者数について御記入ください。(令和元年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)	問7 入所(入居)期間別の入所(入居)者数について御記入ください。(令和4年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)
→独自項目	問7-2 入所(入居)申込から入所(入居)までの期間を御記入ください。(令和元年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)	問7-1 入所(入居)申込から入所(入居)までの期間を御記入ください。(令和4年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)
→独自項目	問8 入所(入居)前の居所について御記入ください。(平成30年11月1日から令和元年10月31日までの入所(入居)者についてお答えください)	問8 入所(入居)前の居所について御記入ください。(令和3年11月1日から令和4年10月31日までの入所(入居)者についてお答えください)
→独自項目	問8-2 退所(退居)後の居所等について御記入ください。(平成30年11月1日から令和元年10月31日までの退所(退居)者についてお答えください)	問8-1 退所(退居)後の居所等について御記入ください。(令和3年11月1日から令和4年10月31日までの退所(退居)者についてお答えください)
→独自項目	問9 令和元年11月1日現在で、把握している入所(入居)申込者数について御記入ください。	問9 令和4年11月1日現在で、把握している入所(入居)申込者数について御記入ください。
→独自項目	問10 入居者の平均入所期間について御記入ください。	問10 入居者の平均入所期間について御記入ください。
	○ 事業運営上の課題等についてお聞きします。	○ 事業運営上の課題等についてお聞きします。
→独自項目	問11 介護サービスの質の向上のために具体的な取組はされていますか。	問11 介護サービスの質の向上のために具体的な取組はされていますか。
→独自項目	問12 適切なサービス提供を行ううえで、運営上の課題はありますか。	問12 適切なサービス提供を行ううえで、運営上の課題を教えてください。
→独自項目	問12-2「ある」と回答された方にお聞きします。具体的に課題は何かとお考えですか。	削除
	○ 介護従事者の確保・処遇改善についてお聞きします。	○ 介護従事者の確保・処遇改善についてお聞きします。
→独自項目	問13 貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員について1年間(平成30年11月1日から令和元年10月31日まで)の採用者数、離職者※数をお聞きします。また、貴事業所で1年間に離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」、「1年以上3年未満の者」、「3年以上5年未満の者」、「5年以上10年未満の者」及び「10年以上の者」の人数は何人でしたか。	問13 貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員について1年間(令和3年11月1日から令和4年10月31日まで)の採用者数、離職者※数をお聞きします。また、貴事業所で1年間に離職した者のうち、勤務年数が「1年未満の者」、「1年以上3年未満の者」、「3年以上5年未満の者」、「5年以上10年未満の者」及び「10年以上の者」の人数は何人でしたか。
→独自項目	問14 貴事業所において、従業員の職種別過不足(※)の状況はどうか。	問14 貴事業所において、介護職員等の過不足(※)の状況はどうか。
→独自項目	問14-2 問14で「事業所全体でみた場合」の1、2、3いずれかに○を付けた事業所で、不足している理由はどれですか。	削除
→新規項目	新規	問14-1 問14の「事業所全体でみた場合」で「1. 大いに不足している」「2. 不足している」「3. やや不足している」のいずれかに○を付けた事業所で、介護職員等の不足への対応状況について、該当するもの全てに「○」を選択してください。
→独自項目	問14-3 問14-2で「2. 採用が困難である」に○を付けた事業所のみお答え下さい。原因は何にあるとお考えですか。	削除
→新規項目	新規	問14-2 問14の「事業所全体でみた場合」で「1. 大いに不足している」「2. 不足している」「3. やや不足している」のいずれかに○を付けた事業所で、事業所が実施する業務の中で、特に人手が足りない業務について、選択してください。
→独自項目	問15 貴事業所において、従業員の募集を行う場合、どのような手段や媒体を用いていますか。採用者数の多いものから2つ選んでください。	削除
→独自項目	問15-2 貴事業所が実施した従業員採用に向けた取組で、効果のあった事例や取組過程で生じた問題等があれば、その具体的な内容を御記入ください。	削除
→独自項目	問16 貴事業所では1年間(平成30年11月1日から令和元年10月31日まで)に採用した職員の能力についてどのように評価していますか。	削除
→独自項目	問17 外国人を雇用するうえで最も大きいと思う課題は何ですか。	削除
→新規項目	新規	問15 貴事業所で外国人介護職員を雇用していますか。該当する項目に「○」を選択してください。また、「雇用している」と回答した事業所は人数と内訳を記載してください。
→新規項目	新規	問15-1 問15で「1 雇用しておらず、今後も雇用の予定はない」と回答した事業所は、その理由について該当するもの全てに「○」を選択してください。
→独自項目	問18 貴事業所において、今後介護ロボットを導入する予定はありますか。	削除
→独自項目	問18-2 問18で「1. 導入の予定がある(既に導入している)」又は「2. 導入を検討している」と回答された方にお聞きします。貴事業所において、介護ロボットに特に期待することは何ですか。	削除
→独自項目	問18-3 問18で「3. 導入の予定はない」又は「4. 分からない」と回答された方にお聞きします。貴事業所において、介護ロボット導入を阻害している要因は何だとお考えですか。	削除
→新規項目	新規	問16 貴事業所において、ICTや介護ロボットを導入しているでしょうか。導入しているタイプについて該当するもの全てに「○」を選択してください。また、効果についても該当する項目に「○」を選択してください。
→新規項目	新規	問16-1 問16で「9 その他」を選択された場合、その具体的な内容を記入してください。

介護サービス事業者に関するアンケート

(別紙2)

分類	旧	新
	問19 介護職員処遇改善加算について	問17 介護職員処遇改善加算について
→独自項目	(1) 調査対象サービスにおける令和元年度の介護職員処遇改善加算の届出状況について、該当する番号に○をつけてください。	(1) 介護職員処遇改善加算(介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算含む)を届出されていない事業所にお聞きします。届出を行っていない理由を教えてください。
→独自項目	【問19(1)で「1」と答えた方にお伺いします】 (2) 介護職員処遇改善加算について、賃金改善をいずれの項目で行っているか、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(1)で「1」と答えた方にお伺いします】 (3) 特別事情届出書の提出状況について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(1)で「1」と答えた方にお伺いします】 (4) 調査対象サービスにおける令和元年度の介護職員等特定処遇改善加算の届出状況について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(1)で「1」と答えた方にお伺いします】 (5) 介護職員処遇改善加算について、いずれかの加算を届出しているか、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(5)で「2」と答えた方にお伺いします】 (6) 介護職員処遇改善加算(1)の今後の届出予定について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(5)で「2」と答えた方にお伺いします】 (7) 介護職員処遇改善加算(1)の届出を行っていない理由について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(5)で「3」「4」「5」と答えた方にお伺いします】 (8) 介護職員処遇改善加算(11)の取得が困難な理由について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(8)で「1」と答えた方にお伺いします】 (9) 具体的にどのような理由でキャリアパス要件(1)を満たすことが困難なのか、以下のうち、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(8)で「2」と答えた方にお伺いします】 (10) 具体的にどのような理由でキャリアパス要件(11)を満たすことが困難なのか、以下のうち、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(1)で「2」と答えた方にお伺いします】 (11) 介護職員処遇改善加算の届出を行わない理由について、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(11)で「1」と答えた方にお伺いします】 (12) 「対象の制約のため困難」とする具体的な事情について、以下のうち、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	【問19(1)で「2」と答えた方にお伺いします】 (12) 「事務作業が煩雑」とする具体的な事情について、以下のうち、該当する番号に○をつけてください。	削除
→独自項目	問20 調査対象サービスの介護従事者に対する給与等の引き上げ以外の処遇改善に関して、平成31年4月～令和元年10月末までに実施した対応状況(今後の予定を含む)についてお伺いします。下表(A)～(U)の項目ごとに、該当する1～5の欄に1つだけ○をつけてください。	削除
	○ 介護予防・日常生活支援総合事業サービスについてお聞きします。	
→独自項目	問21 令和元年5月1日から令和元年10月31日の間に、地域包括支援センター又は居宅介護支援事業所から、総合事業の新設サービス(生活支援型ヘルプサービス、支え合い型ヘルプサービス、短時間型デイサービス、短期集中運動型デイサービス)の提供に関する依頼に対して、どの程度の割合で応じられましたか。以下の選択肢番号のいずれかに○をしてください。	削除
	○ 関係機関との連携についてお聞きします。	○ 関係機関との連携についてお聞きします。
→独自項目	問22 貴事業所では、地域(近隣)の各種団体や組織とどのような関わりをもっておられますか。	削除
→新規項目	新規	問18 業務に従事しておられる地域において、医療・介護関係者間の連携が進んでいると思われますか。
→新規項目	新規	問19 医療・介護連携を進めるために、どのような取組が必要と思われますか。
	○ 本市の施策や介護保険制度についてお聞きします。	○ 本市の施策や介護保険制度についてお聞きします。
→独自項目	問23 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについて、御意見がありましたら、御自由にお書きください。	問20 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについて、御意見がありましたら、御自由にお書きください。
	○ サービス内容等についてお聞きします。	
	○ 介護支援専門員の方にお伺いします。	
→独自項目	問24 利用者の在宅生活を支えていくために、現在は不足していると考えられるなど、今後充実(量的な充実)が必要と思われるサービスは何ですか。	削除
→独自項目	問25 中重度の要介護者や、認知症が進行した人が、住み慣れた地域で生活を続けていくうえで、特に充実(量的な充実)が必要と思われるものは何ですか。	削除
→独自項目	問26 住み慣れた地域で生活を続けていくうえで、介護保険のサービス以外に、現状から今後充実(量的・質的な充実)が必要と思われるものは何ですか。	削除
→独自項目	問27 介護サービス利用者が住み慣れた地域での生活を続けるために、現行の制度において課題に感じることはありませんか。またその理由について御記入ください。	削除

1 高齢者調査票

次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための すこやかアンケート 御協力をお願い

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいの65歳以上の方（令和4年10月1日現在）の中から無作為に抽出させていただいた、約4,200人の皆様です。

なお、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月
京都市

■ 御返送いただく期日

調査票は、御記入の後、無記名のまま3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月23日（金）**までに御返送くださいますようお願いいたします（切手は不要です。）。

■ 御記入いただく方について

この調査票は、原則として、あて名の御本人がお答えいただくことを想定していますが、健康状態などにより御本人によるお答えができない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。

つきましては、調査票の御回答に先立ち、次のQにお答えください。

Q 調査票を記入された方をお教えください。〈あてはまる方に○を付けてください。〉

- 1 あて名の御本人が記入
- 2 御本人以外の方が記入

■ 調査に関するお問い合わせ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課
（担当：〇〇、〇〇）
電話：075（213）5871
FAX：075（213）5801

行政区

〇〇〇

■ 御記入上のお願

- 1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。設問の冒頭に「あなた」と記載しているものについては全ての方に、波線（〇〇）で記載している設問は該当する方に、それぞれお答えをお願いします。

<記入例>

Q2 あなたの性別をお教えください。〈○は1つ〉

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない ←「男性」と回答する場合、「1」に○印
- 2 一部の質問には、具体的な内容を御記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはっきりと御記入ください。
- 3 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態
介助…御自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

■ その他

本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

「京都市民長寿すこやかプラン」

（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、3年ごとに、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に策定し、両計画の総称を「京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、元気な高齢者への健康づくりや生きがいがづくり、ひとり暮らし高齢者への生活支援をはじめ、寝たきり、認知症、要介護状態になることを予防するサービスの提供、さらには要介護高齢者への介護サービスの提供など、本市に暮らす高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

この調査は、令和6年度からの次期「京都市民長寿すこやかプラン」（令和6年度から令和8年度まで）策定の基礎資料とするため、実施するものです。

問1 あなたや御家族の状況について

Q1. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の年齢をお教えてください。

<〇は1つ>

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90～94歳 |
| 7. 95～99歳 | 8. 100歳以上 | |

Q2. あなたの性別をお教えてください。<〇は1つ>

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

Q3. あなたは現在の地域（学区※）に何年お住まいですか。<〇は1つ>

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上 |

※小学校区

Q4. あなたの家族構成をお教えてください。<〇は1つ>

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下） | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他 | |

Q5. あなたは現在収入になる仕事をしていますか。<〇は1つ>

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. はい ⇒Q4-1へ | 2. いいえ ⇒Q4-4へ |
|--------------|---------------|

Q5-1. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。主な就労形態は、次のどれですか。<〇は1つ>

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 自営業（経営、手伝い等を含む） | 2. 会社員（役員等を含む） |
| 3. 臨時・日雇い・パート | 4. シルバー人材センターからの紹介 |
| 5. 内職 | |
| 6. その他（具体的に：_____） | |

Q5-2. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。働いている主な理由は何かですか。<〇は1つ>

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 生活費をまかなうため | 2. こづかいがほしいから |
| 3. 健康によいから | 4. 友達がほしいから |
| 5. 仕事そのものが面白いから | 6. 知識や技能を生かしたいから |
| 7. 時間に余裕があるから | 8. 社会のために役立ちたいから |
| 9. その他（具体的に：_____） | |

Q5-3. Q4で「1. はい」と回答した方にお聞きします。何歳まで働きたいですか。

<〇は1つ>

- | | |
|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 |
| 3. 75～79歳 | 4. 80～84歳 |
| 5. 85～89歳 | 6. 90歳以上 |

Q5-4. Q4で「2. いいえ」と回答した方にお聞きします。その主な理由は何ですか。<〇は1つ>

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 働きたいが仕事がないから | 2. 自分に合った仕事がないから |
| 3. 病気がちであるから | 4. 家族が反対するから |
| 5. ボランティア活動などをしたいから | 6. 特に生活には困っていないから |
| 7. 働きたくないから | |
| 8. その他（具体的に_____） | |

Q6. あなたの個人の年間総収入（年金収入を含む。税込。）はどのくらいですか。

<〇は1つ>

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50万円～100万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 4. 200万円～300万円未満 |
| 5. 300万円～400万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 7. 500万円～600万円未満 | 8. 600万円～700万円未満 |
| 9. 700万円以上 | |

Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。<〇は1つ>

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

Q8. あなたの要介護認定区分は次のどれにあてはまりますか。<〇は1つ>

- | | | | | |
|---------|---------|----------|-------------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 | 4. 要介護2 | 5. 要介護3 |
| 6. 要介護4 | 7. 要介護5 | 8. 事業対象者 | 9. 自立（認定なし） | |

Q9. あなたは普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。<〇は1つ>

- | |
|---|
| 1. 介護・介助は必要ない |
| 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない |
| 3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む） |

Q9-1. Q8で「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない。」又は、「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。

〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|------------------|--------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 2. 心臓病 |
| 3. がん（悪性新生物） | 4. 呼吸器の病気（肺気腫・肺炎等） |
| 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 |
| 9. 腎疾患（透析） | 10. 視覚・聴覚障害 |
| 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | |
| 14. その他（ ） | 15. 不明 |

Q9-2. Q8で「3. 現在何らかの介護を受けている。」と回答した方にお聞きします。主にどなたの介護・介助を受けていますか。

〈あてはまるものすべてに○〉

- | | | |
|----------------|-----------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ ） | |

問2 運動・外出について

Q1. あなたは階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

Q2. あなたは椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

Q3. あなたは15分位続けて歩いていますか。〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

Q4. あなたは週に1回以上は外出していますか。〈○は1つ〉

- | | | |
|--------------|--------|----------|
| 1. ほとんど外出しない | 2. 週1回 | 3. 週2～4回 |
| 4. 週5回以上 | | |

Q5. あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|--------------|-----------|
| 1. とても減っている | 2. 減っている |
| 3. あまり減っていない | 4. 減っていない |

問3 転倒について

Q1. あなたは過去1年間に転んだ経験がありますか。〈○は1つ〉

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 一度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

Q2. あなたは転倒に対する不安は大きいですか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------------|------------|
| 1. とても不安である | 2. やや不安である |
| 3. あまり不安でない | 4. 不安でない |

問4 口腔・栄養について

Q1. あなたは6箇月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q2. 身長 cm 体重 kg

Q3. あなたは半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q4. あなたはお茶や汁物等でむせることがありますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q5. あなたは口の渇きが気になりますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q6. あなたは歯磨き「（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q7. あなたの歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です。）。〈○は1つ〉

- | |
|------------------------|
| 1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 |
| 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし |
| 3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 |
| 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし |

Q7-1. あなたの歯の噛み合わせは良いですか。〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q7-2. Q7で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答した方にお聞きします。毎日入れ歯の手入れをしていますか。〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q8. あなたはどなたかと食事をとる機会がありますか。〈〇は1つ〉

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

問5 物忘れについて

Q1. あなたは物忘れが多いと感じますか。 〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q2. あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。 〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q3. あなたは今日が何月何日かわからない時がありますか。 〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ

問6 日常生活について

Q1. あなたはバスや電車を使って一人で外出していますか。(自家用車でも可)
〈〇は1つ〉

1. できるし、している 2. できるけどしていない
3. できない

Q2. あなたは自分で食品・日用品の買物をしていますか。〈〇は1つ〉

1. できるし、している 2. できるけどしていない
3. できない

Q3. あなたは自分で食事の用意をしていますか。〈〇は1つ〉

1. できるし、している 2. できるけどしていない
3. できない

Q4. あなたは自分で請求書の支払いをしていますか。〈〇は1つ〉

1. できるし、している 2. できるけどしていない
3. できない

Q5. あなたは自分で預貯金の出し入れをしていますか。〈〇は1つ〉

1. できるし、している 2. できるけどしていない
3. できない

Q6. 現在、あなたが日常生活の中で不自由と感じているのはどんなことですか。
〈〇は5つまで。うち最もそう感じるものに◎〉

1. 食事の準備・後片付けをすること 2. 掃除・ごみ出し・洗濯などの家事をすること
3. 衣服の着脱・食事・入浴に関すること
4. 身体機能の維持・向上のための運動教室を受ける場がないこと
5. 段差や間取り、耐震など住まいの建物構造に関すること
6. 契約や財産管理の手続きをすること 7. 相談に乗ってもらえる人が身近にいないこと
8. 外出時の移動が負担であること 9. 病院に通院すること
10. 近くに話し相手がないこと 11. 自分を介助する家族などの負担が大きいこと
12. 買い物したり、荷物を持ち運ぶこと
13. 高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所がないこと
14. 住宅の軽微な修繕に関すること
15. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等をする事
16. その他(具体的に:)

問7 社会参加について

Q1. あなたは年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q2. あなたは新聞を読んでいますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q3. あなたは本や雑誌を読んでいますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q4. あなたはパソコンを使用されていますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q5. あなたは携帯電話・PHSを使用されていますか（スマートフォンを除く）。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q6. あなたはスマートフォンを使用されていますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q7. あなたは健康についての記事や番組に関心がありますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q8. あなたは友人の家を訪ねていますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q9. あなたは家族や友人の相談にのっていますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q10. あなたは病人を見舞うことができますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ
Q11. あなたは若い人に自分から話しかけることがありますか。〈〇は1つ〉	1. はい 2. いいえ

Q12. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 〈(1)から(8)までそれぞれ〇は1つずつ〉

	上以回4回	3回	2回	1回	3回	1回	4年	5加参	6
								回数	していない
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6			
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6			
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6			
(4) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6			
(5) 介護予防のための通いの場 （健康長寿サロン、健康すこやか学級、老人福祉センター、公園体操など）	1	2	3	4	5	6			
(6) 老人クラブ	1	2	3	4	5	6			
(7) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6			
(8) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6			

Q13. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。〈〇は1つ〉

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

Q14. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。〈〇は1つ〉

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 是非参加したい | 2. 参加してもよい |
| 3. 参加したくない | 4. 既に参加している |

Q15. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
 〈(1)から(4)までそれぞれあてはまるものすべてに〇〉

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () 8. そのような人はいない | | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () 8. そのような人はいない | | |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

- | | | |
|--------------------------|-----------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他 () 8. そのような人はいない | | |

Q16. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。また、相談したことはありますか。〈〇は1つ〉

※高齢サポートのシンボルマーク→



- | |
|-----------------------------|
| 1. よく知っており、たびたび相談している |
| 2. 知っており、相談したことがある |
| 3. 知っているが、相談したことはない |
| 4. 名前を聞いたことはあるが、どういところか知らない |
| 5. 全く知らない |

Q17. 近所づきあい・外出に関することについておうかがいします。
あなた自身が御近所で手助けや協力ができることがありますか。
〈あてはまるものすべてに〇〉

- | |
|------------------------|
| 1. 話し相手 |
| 2. 家事の手伝い |
| 3. 荷物を預かったりすること |
| 4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い |
| 5. 子どもたちの世話（遊び相手や見守り） |
| 6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど |
| 7. 急病人が出たときの世話や手伝い |
| 8. 冠婚葬祭の手伝い |
| 9. その他（具体的に：) |

問8 健康について

Q1. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。〈〇は1つ〉

- | | | | |
|----------|---------|------------|---------|
| 1. とてもよい | 2. まあよい | 3. あまりよくない | 4. よくない |
|----------|---------|------------|---------|

Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。〈あてはまるものすべてに〇〉

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 高血圧 | 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 | 4. 糖尿病 |
| 5. 高脂血症(脂質異常) | 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 8. 腎臓・前立腺の病気 |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 10. 外傷(転倒・骨折等) |
| 11. がん(悪性新生物) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 13. うつ病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 15. パーキンソン病 | 16. 目の病気 |
| 17. 耳の病気 | |
| 18. その他(具体的に：) | |
| 19. ない | |

Q3. あなたには、気軽に相談でき、何かあれば診療を受ける、決まった「1. かかりつけ医」「2. かかりつけ歯科医」、「3. かかりつけ薬剤師(薬局)」がいますか。

〈(1)から(3)までそれぞれ〇は1つずつ〉

(1)かかりつけ医がいる	1. いる 2. いないが、何かあれば受診する医療機関は決まっている 3. いない 4. わからない
(2)かかりつけ歯科医がいる	1. いる 2. いないが、何かあれば受診する歯科医院は決まっている 3. いない 4. わからない
(3)かかりつけ薬剤師(薬局)がいる	1. いる 2. いないが、何かあれば服薬相談をする薬局は決まっている 3. いない 4. わからない

Q 4. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。〈○は1つ〉

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

Q 5. あらかじめ、かかりつけ歯科医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問歯科診療といいます。あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。〈○は1つ〉

1. 利用している	2. 利用していない
-----------	------------

Q 6. あなたはお酒を飲みますか。〈○は1つ〉

1. ほぼ毎日飲む	2. 時々飲む
3. ほとんど飲まない	4. もともと飲まない

Q 7. あなたはタバコを吸っていますか。〈○は1つ〉

1. ほぼ毎日吸っている	2. 時々吸っている
3. 吸っていたがやめた	4. もともと吸っていない

Q 8. あなたは現在どの程度幸せですか（「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください。）。〈○は1つ〉

とても不幸	とても幸せ
0点	10点
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

Q 9. あなたの心身の状況についておうかがいします。
〈(1)から(2)までそれぞれ○は1つ〉

(1) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい 2. いいえ
(2) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい 2. いいえ

問9 健康づくりや介護予防、見守りについて

Q 1. あなたは、健康づくりや介護予防のために、どのようなことをしていますか。
〈(1)から(10)までそれぞれ○は1つずつ〉

	1. している	2. 今はしていないが 今後はしてみたい	3. 特に考えていない
(1) ウォーキング・散歩	1	2	3
(2) ジム等でトレーニング	1	2	3
(3) ゴルフ・水泳などのスポーツ	1	2	3
(4) 軽い体操 (ストレッチ、ラジオ体操など)	1	2	3
(5) 健康教室に参加	1	2	3
(6) 介護予防教室に参加	1	2	3
(7) 健康診断を受診	1	2	3
(8) 歯科検診を受診	1	2	3
(9) ボランティア活動	1	2	3
(10) 収入のある仕事	1	2	3

Q 2. あなたは、緊急時の見守り・駆け付けサービスを利用していますか。(京都市の緊急通報システム事業を除く) 〈○は1つ〉

1. 利用している
2. 今は利用していないが、今後は利用してみたい
3. 特に考えていない

問 10 在宅療養について

Q 1. もし、あなたが病気や老い等の理由で、自宅での療養を検討するとした場合、不安に思うことは何ですか。〈(1)から(6)までそれぞれ〇は1つずつ〉

	1. 不安に思う	2. やや思う	3. あまり思わない	4. 不安に思わない	5. わからない
(1) 適切に自宅に訪問して対応してくれる医師・看護師がいるかどうか	1	2	3	4	5
(2) 夜間・緊急時に対応してくれる医師・看護師がいるかどうか	1	2	3	4	5
(3) 病状が急変した時に、すぐに一時的に入院できる病院があるかどうか	1	2	3	4	5
(4) 適切に自宅に訪問してくれる介護サービスがあるかどうか	1	2	3	4	5
(5) 介護してくれる家族等への負担	1	2	3	4	5
(6) 経済的な負担	1	2	3	4	5
(7) その他（具体的に： _____）					

問 11 人生の終い支度について

Q 1. もし、あなたが万一治らない病気になったり、死期が迫っていると診断された時に、どのような医療や介護が受けたいかや、財産の相続や葬儀等をどうして欲しいか、周囲の人と話し合っていますか。〈(1)から(2)までそれぞれ〇は1つずつ〉

	1. 話し合っている	2. 話し合っていない	3. まだ話し合っていないが今後話し合おうと思っている
(1) 家族や親しい人と	1	2	3
(2) 医療機関等や介護サービス事業者と	1	2	3

Q 2. あなたが亡くなった後の葬儀や家財の処分をしてくれる方はいますか。

〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

問 12 認知症について

Q 1. あなたは認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人はいますか。

〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q 2. あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。

〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q 3. あなたは認知症の方を支援する機関や取組について知っていますか。

〈あてはまるものすべてに〇〉

1. 認知症初期集中支援チーム
2. 京都市長寿すこやかセンター
3. 認知症サポーター
4. 本市発行認知症ケアパス・チェックリスト
5. 認知症カフェ
6. 地域包括支援センター（高齢サポート）
7. その他（具体的に： _____）
8. 知らない

Q 4. あなたが認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。

〈あてはまるものすべてに〇〉

1. 認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実
2. デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実
3. 買い物や家事援助など、日常生活における支援
4. 地域の中で認知症の方を見守る「認知症サポーター」の養成
5. 認知症の方や家族が気軽に利用できる居場所づくりの充実
6. 介護家族交流会の開催など、介護をする方への支援
7. 最新情報の収集や専門職への相談ができる窓口の充実
8. わからない
9. その他（具体的に： _____）

問 1 3 介護保険制度等について

Q 1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。
 <○は1つ>

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 大いに評価している | 2. 多少は評価している |
| 3. あまり評価していない | 4. 全く評価していない |
| 5. 何とも言えない | 6. その他(具体的に:) |

Q 2. あなたは、今後も住み慣れた地域で生活をするには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。<○は5つまで。うち最もそう感じるものに◎>

- | |
|--|
| 1. 配食サービス等食事の提供 |
| 2. 掃除・ごみ出し・洗濯など |
| 3. 衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービス |
| 4. 夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること |
| 5. 身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること |
| 6. 自宅近くで「通い」や「訪問」、「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること |
| 7. 段差や間取り、耐震などが充実した住まいが提供されることや、バリアフリー改修の支援が受けられること |
| 8. 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること |
| 9. 相談にいつでも乗ってもらえること |
| 10. 外出時にサポートが受けられること |
| 11. 医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること |
| 12. 親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること |
| 13. 高齢者どうし、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること |
| 14. 介護をする家族などの負担を軽減してもらえること |
| 15. 買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること |
| 16. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること |
| 17. その他(具体的に:) |

Q 3. あなたはもし、御自身に介護が必要になった場合、どこで介護を受けたいですか。
 <○は1つ>

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい | } ⇒Q3-1へ |
| 2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい | |
| 3. 早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい | } ⇒Q4へ |
| 4. その他(具体的に:) | |

Q 3-1. Q3で「1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい」又は「2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい」と回答した方にお聞きします。どのような介護を希望しますか。<○は1つ>

- | |
|----------------------------------|
| 1. 家族中心に介護を受けたい |
| 2. 家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい |
| 3. 外部の介護サービスを中心に介護を受けたい |
| 4. その他(具体的に:) |

Q 4. あなたは、どこで人生の終末を迎えたいですか。<○は1つ>

- | |
|-----------------------------|
| 1. 自宅 |
| 2. 子や孫など家族の家 |
| 3. 特別養護老人ホームなどの施設等 |
| 4. 病院などの医療施設(緩和ケア病棟やホスピス含む) |
| 5. その他(具体的に:) |

Q 5. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。<○は1つ>

- | |
|---|
| 1. 現在の介護保険サービス水準*を維持するためには必要な保険料上昇もやむを得ない |
| 2. 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない |
| 3. 保険料を現状程度に維持するために介護サービス水準が縮小してもやむを得ない |
| 4. わからない |
| 5. その他(具体的に:) |

*介護保険サービス水準：一人当たりが使える介護サービスの量など

Q 6. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。<○は1つ>

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 7. 任意後見制度とは、成年後見制度の1つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下した後、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。<○は1つ>

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

2 若年者調査票

次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための すこやかアンケート 御協力をお願い

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。

対象となられる方は、市内にお住まいの40歳以上65歳未満の方（令和4年10月1日現在）の中から無作為に抽出させていただいた、1,200人の皆様です。

なお、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月
京都市

■ 御返送いただく期日

調査票は、御記入の後、無記名のまま3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月23日（金）**までに御返送くださいますようお願いいたします（切手は不要です）。

■ 御記入いただく方について

この調査票は、原則として、あて名の御本人がお答えいただくことを想定していますが、健康状態などにより御本人によるお答えができない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。

つきましては、調査票の御回答に先立ち、次のQにお答えください。

Q 調査票を記入された方をお教えください。〈あてはまる方に○を付けてください。〉

1. あて名の御本人が記入
2. 御本人以外の方が記入

■ 調査に関するお問い合わせ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課
（担当：○○、○○）
電話：075（213）5871
FAX：075（213）5801

■ 御記入上のお願

- 1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。設問の冒頭に「あなた」と記載しているものについては全ての方に、波線（〇〇）で記載している設問は該当する方に、それぞれお答えをお願いします。

〈記入例〉

Q2 あなたの性別をお教えください。〈○は1つ〉

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない ◀「男性」と回答する場合、「1」に○印

- 2 一部の質問には、具体的な内容を御記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはっきりと御記入ください。
- 3 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態
介助…御自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態

■ その他

本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

「京都市民長寿すこやかプラン」 （京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、3年ごとに、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に策定し、両計画の総称を「京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、元気な高齢者への健康づくりや生きがいがづくり、ひとり暮らし高齢者への生活支援をはじめ、寝たきり、認知症、要介護状態になることを予防するサービスの提供、さらには要介護高齢者への介護サービスの提供など、本市に暮らす高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

この調査は、令和6年度からの次期「京都市民長寿すこやかプラン」（令和6年度から令和8年度まで）策定の基礎資料とするため、実施するものです。

問1 あなたや御家族の状況について

Q1. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の年齢をお教えてください。

<〇は1つ>

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 40～44歳 | 2. 45～49歳 | 3. 50～54歳 |
| 4. 55～59歳 | 5. 60歳以上 | |

Q2. あなたの性別をお教えてください。<〇は1つ>

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

Q3. あなたがお住まいの区・支所をお教えてください。<〇は1つ>

- | | | | |
|---------------|---------------|---------------|---------|
| 1. 北区 | 2. 上京区 | 3. 左京区 | 4. 中京区 |
| 5. 東山区 | 6. 山科区 | 7. 下京区 | 8. 南区 |
| 9. 右京区 | 10. 西京区 | 11. 西京区(洛西支所) | 12. 伏見区 |
| 13. 伏見区(深草支所) | 14. 伏見区(醍醐支所) | | |

Q4. あなたは現在の地域（学区※）に何年お住まいですか。<〇は1つ>

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上～5年未満 |
| 3. 5年以上～10年未満 | 4. 10年以上 |

※小学校区

Q5. あなたの同居者（家族）の構成をお教えてください。<〇は1つ>

- | |
|-----------------------|
| 1. 単身世帯（ひとり暮らし） |
| 2. 一世代（夫婦のみ） |
| 3. 一世代（兄弟姉妹のみ） |
| 4. 二世帯同居（あなた（夫婦）と親） |
| 5. 二世帯同居（あなた（夫婦）と子） |
| 6. 三世帯同居（あなた（夫婦）と子と孫） |
| 7. 三世帯同居（あなた（夫婦）と親と子） |
| 8. その他（具体的に： _____） |

Q6. あなたの世帯の年間総収入（年金収入を含む。税込）はどのくらいですか。<〇は1つ>

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 50万円未満 | 2. 50万円～100万円未満 |
| 3. 100万円～200万円未満 | 4. 200万円～300万円未満 |
| 5. 300万円～400万円未満 | 6. 400万円～500万円未満 |
| 7. 500万円～600万円未満 | 8. 600万円～700万円未満 |
| 9. 700万円以上 | |

Q7. あなたは現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。<〇は1つ>

- | | | | |
|--------|----------|-------------|-----------|
| 1. 苦しい | 2. やや苦しい | 3. ややゆとりがある | 4. ゆとりがある |
|--------|----------|-------------|-----------|

問2 健康について

Q1. あなたは普段、御自分で健康だと思いますか。<〇は1つ>

- | | | | |
|----------|-----------|-------------|----------|
| 1. とても健康 | 2. まあまあ健康 | 3. あまり健康でない | 4. 健康でない |
|----------|-----------|-------------|----------|

Q2. あなたは現在治療中又は後遺症のある病気はありますか。<あてはまるものすべてに〇>

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1. 高血圧 | 2. 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) |
| 3. 心臓病 | 4. 糖尿病 |
| 5. 高脂血症(脂質異常) | 6. 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) |
| 7. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 | 8. 腎臓・前立腺の病気 |
| 9. 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等) | 10. 外傷(転倒・骨折等) |
| 11. がん(悪性新生物) | 12. 血液・免疫の病気 |
| 13. うつ病 | 14. 認知症(アルツハイマー病等) |
| 15. パーキンソン病 | 16. 目の病気 |
| 17. 耳の病気 | |
| 18. その他(具体的に： _____) | |
| 19. ない | |

Q3. あなたは定期的に健康診断を受診していますか。<〇は1つ>

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q4. あなたは定期的に歯科受診（健診を含む）をしていますか。<〇は1つ>

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q5. あなたは以下のような病気の予防や健康づくりのための取組を現在行っていますか。また行っていない場合は、今後どのように考えていますか。

<(1)から(5)までそれぞれ〇は1つずつ>

	現在行っている	今後2年以内に 行いたい	3年以上 考えていない
(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る	1	2	3
(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする	1	2	3
(3) 読み書きや計算などふだんから頭をよく使うようにする	1	2	3
(4) 栄養バランスを考えた食事をとる	1	2	3
(5) 健康に関する情報を集める	1	2	3

Q 6. あなたはお酒を飲みますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. ほぼ毎日飲む | 2. 時々飲む |
| 3. ほとんど飲まない | 4. もともと飲まない |

Q 7. あなたはタバコを吸っていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. ほぼ毎日吸っている | 2. 時々吸っている |
| 3. 吸っていたがやめた | 4. もともと吸っていない |

Q 8. あなたのここ2週間の心身の状況についておうかがいします。

〈(1)から(5)までそれぞれ○は1つ〉

(1) 毎日の生活に充実感がない	1. はい 2. いいえ
(2) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1. はい 2. いいえ
(3) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じられる	1. はい 2. いいえ
(4) 自分が役に立つ人間だと思えない	1. はい 2. いいえ
(5) わけもなく疲れたような感じがする	1. はい 2. いいえ

問3 介護・介助に対する意識等について

Q 1. あなたは認知症の症状や認知症の方への対応等について学んだことはありますか。

〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 2. あなたは65歳以下で発症する認知症である「若年性認知症」について知っていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 3. あなたは若年性認知症の症状や若年性認知症の方への対応等について学んだことはありますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 4. あなたは若年性認知症の方の相談窓口や、支援機関、取組について知っていますか。〈あてはまるものすべてに○〉

- | |
|------------------------|
| 1. 認知症初期集中支援チーム |
| 2. 京都市長寿すこやかセンター |
| 3. 認知症サポーター |
| 4. 本市発行認知症ケアパス・チェックリスト |
| 5. 認知症カフェ |
| 6. 地域包括支援センター（高齢サポート） |
| 7. その他（具体的に： _____） |
| 8. 知らない |

Q 5. あなたやあなたの家族が認知症になった場合、どのような支援があればよいと思いますか。〈○は3つまで〉

- | |
|---|
| 1. 認知症専門の医療機関やかかりつけ医等の医療体制の充実 |
| 2. デイサービス・グループホームなど、認知症の方に対する専門の介護サービスの充実 |
| 3. 買い物や家事援助など、日常生活における支援 |
| 4. 地域の中で認知症の方を見守る「認知症サポーター」の養成 |
| 5. 認知症の方や家族が気軽に利用できる居場所づくりの充実 |
| 6. 介護家族交流会の開催など、介護をする方への支援 |
| 7. 認知症の方自身や、介護をする方の雇用の継続や就労の支援 |
| 8. 最新情報の収集や専門職への相談ができる窓口の充実 |
| 9. わからない |
| 10. その他（具体的に： _____） |

Q 6. あなたは、現在、家族の介護をしていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. している ⇒Q7へ | 2. していない ⇒Q8へ |
|--------------|---------------|

Q 7. Q 6で「1. している」と回答した方にお聞きします。現在の勤務形態について、御回答ください。〈○は1つ〉

- | | |
|-----------------|---------------|
| 1. フルタイムで働いている | } ⇒Q7-1~Q7-3へ |
| 2. パートタイムで働いている | |
| 3. 働いていない | ⇒Q8へ |

Q7-1. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。介護をするに当たって、何か働き方についての調整等をしていますか。〈あてはまるものすべてに〇〉

1. 特に行っていない
2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰等）」しながら働いている
3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら働いている
4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら働いている
5. 介護のために、上記2～4以外の調整をしながら働いている
6. わからない

Q7-2. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。〈あてはまるものすべてに〇〉

1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない
2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実
3. 制度を利用しやすい職場づくり
4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）
5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど）
6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供
7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置
8. 介護をしている従業員への経済的支援
9. その他（)
10. 特にない
11. わからない

Q7-3. Q7で「1. フルタイムで働いている」、「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。今後も働きながら介護を続けていけそうですか。〈〇は1つ〉

1. 問題なく続けていける
2. 問題はあるが何とか続けていける
3. 続けていくのはやや難しい
4. 続けていくのはかなり難しい
5. わからない

Q8. あなたが現在の生活を継続していくに当たって、不安に感じる介護等について、御回答ください（現状で行っているか否かは問いません。）。〈〇は3つまで〉

- | | |
|-------------------------|------------------------|
| 1. 屋内の移乗・移動 | 2. 外出の付き添い、送迎等 |
| 3. 入浴・洗身 | 4. 日中の排泄 |
| 5. 夜間の排泄 | 6. 食事の準備（調理等） |
| 7. 食事の介助（食べる時） | 8. 服薬 |
| 9. 認知症状への対応 | 10. 衣服の着脱 |
| 11. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） | 12. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） |
| 13. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等） | 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き |
| 15. その他 | 16. 不安に感じていることは、特にない |
| 17. わからない | |

Q9. あなたは、介護休業制度を知っていますか。〈〇は1つ〉

1. はい
2. いいえ

Q10. あなたは、家族等の介護をするうえで、どのような支援があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

1. 介護をする方の心身の負担を軽減するための支援
2. 介護をする方の経済的負担を軽減するための支援
3. 気軽に相談できる場の確保
4. 地域の中で見守りが行われること
5. 認知症の方への対応を含む介護方法の周知
6. 認知症への知識や理解を深めるための研修会等の開催
7. わからない
8. その他（具体的に：)

Q11. あなたは介護と仕事を両立するためには、企業等にどのような支援策があれば良いと思いますか。〈〇は3つまで〉

1. 介護休業制度や介護休暇等に関する制度の整備
2. フレックスや在宅勤務、時間短縮等の柔軟な働き方の取組の充実
3. 介護に関する相談窓口や相談担当者の設置
4. 介護に直面した就労者への仕事と介護の両立に関する情報提供、セミナーの開催
5. 介護に直面しているかを問わず就労者への仕事と介護の両立に関する情報提供
6. 介護に直面した就労者も働きやすい職場環境づくりに向けての企業経営者層、人事担当者、管理職等を対象とした研修やセミナー、情報交換会等の開催
7. 家族や親族と企業等との日常的なコミュニケーション
8. 経済的支援
9. その他（具体的に：)

Q12. あなたは介護サービスの利用が必要になった際の利用方法を知っていますか。〈〇は1つ〉

1. はい
2. いいえ

Q13. あなたは介護が必要になった場合の相談先を知っていますか。〈〇は1つ〉

1. はい
2. いいえ

問4 社会参加について

Q1. あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
 <(1)から(6)までそれぞれ○は1つずつ>

	上 以回数週	2 週回数週	3 月	4 年	5 加参 に回数	6 加参 に回数 今後参加したいが、 していませんが、 今後参加する気はない	7 加参 に回数 今後参加したいが、 していませんが、 今後参加する気はない
(1) ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6	7
(2) スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6	7
(3) 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6	7
(4) 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6	7
(5) 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6	7
(6) その他の団体や会	1	2	3	4	5	6	7

Q2. あなたは以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか。
 <(1)から(5)までそれぞれ○は1つずつ>

	上 以回数週	2 週回数週	3 月	4 年	5 加参 に回数	6 加参 に回数 今後参加したいが、 していませんが、 今後参加する気はない	7 加参 に回数 今後参加したいが、 していませんが、 今後参加する気はない
(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(3) 子どもを育てている親を支援する活動	1	2	3	4	5	6	7
(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動	1	2	3	4	5	6	7
(5) 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6	7

Q3. あなたは、個人又は友人、あるいはグループで自主的に行われている次のような活動に、今後参加したいと思うものはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 趣味・文化・スポーツ活動
2. 生活環境改善（環境美化、緑化推進、まちづくりなど）
3. 生活安全活動（交通安全、防犯・防災など）
4. 高齢者の方への支援（家事援助、移送など）
5. 障害のある方への支援（家事援助、移送など）
6. 子育て支援（保育の手伝いや地域での子どもの見守りなど）
7. 地域行事（祭などの地域の催しもの世話など）
8. その他（具体的に： _____）
9. 今後参加したいと思うものはない

Q4. あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。
 <(1)から(4)までそれぞれあてはまるものすべてに○>

(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ _____） | 8. そのような人はいない | |

(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ _____） | 8. そのような人はいない | |

(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ _____） | 8. そのような人はいない | |

(4) 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 配偶者 | 2. 同居の子ども | 3. 別居の子ども |
| 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 | 5. 近隣 | 6. 友人 |
| 7. その他（ _____） | 8. そのような人はいない | |

Q5. あなたは地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）を知っていますか。
 <○は1つ>

※**高齢サポートのシンボルマーク**→



- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 6. あなた自身が近所で手助けや協力ができることがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 話し相手
2. 家事の手伝い
3. 荷物を預かったりすること
4. 食料品・日用品などの買い物の手伝い
5. 子どもたちの世話（遊び相手や見守り）
6. 一人暮らしの高齢者の方などの見守りなど
7. 急病人が出たときの世話や手伝い
8. 冠婚葬祭の手伝い
9. その他（具体的に： _____）

問5 高齢期について

Q 1. あなたは、老後の生活に不安を感じていますか。<○は1つ>

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 不安はない ⇒Q2へ | 2. 不安を感じる ⇒Q1-1へ |
| 3. わからない ⇒Q2へ | |

Q 1-1. Q 1で「2. 不安を感じる」と回答した方にお聞きします。
どんなことに不安を感じますか。<○は3つまで>

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 生活費など経済的な不安 | 2. 働く場がなくなるなど就労の不安 |
| 3. 介護が必要な状態になることへの不安 | 4. 近所づきあいが無い |
| 5. 生きがいがない | 6. 住まいに関する不安 |
| 7. 家族との団らんがない | 8. 自分の健康に関する不安 |
| 9. 家族の健康に関する不安 | 10. 死期に対する不安 |
| 11. なんとなく不安 | 12. わからない |
| 13. その他（具体的に： _____） | |

Q 2. あなた自身に介護が必要になった時に、あなたはどこで介護を受けたいですか。
<○は1つ>

- | | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. できるかぎり最後まで、自宅で介護を受けたい | } ⇒Q2-1へ |
| 2. できるかぎり自宅で介護を受け、最終的には施設等に入所したい | |
| 3. 早めに自宅以外の介護を受けられる施設や住まいに移り、介護を受けたい | } ⇒問6へ |
| 4. その他（具体的に： _____） | |

Q 2-1. Q 2で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。

どのような介護を希望しますか。<○は1つ>

1. 家族中心に介護を受けたい
2. 家族の介護と外部の介護サービスを組み合わせて介護を受けたい
3. 外部の介護サービスを中心に介護を受けたい
4. その他（具体的に： _____）

問6 介護保険制度について

Q 1. あなたの介護保険制度への評価として、御自身の考えに近いものは次のどれですか。
<○は1つ>

- | | |
|---------------|---------------------|
| 1. 大いに評価している | 2. 多少は評価している |
| 3. あまり評価していない | 4. 全く評価していない |
| 5. 何とも言えない | 6. その他（具体的に： _____） |

Q 2. あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。<○は5つまで>

1. 配食サービス等食事の提供
2. 掃除・ごみ出し・洗濯など
3. 衣服の着脱・食事・入浴時などの介護サービス
4. 夜間や緊急時等、いつでも訪問サービスが受けられること
5. 身体機能の維持・向上のための運動教室やリハビリをしてもらえること
6. 自宅近くで「通い」や「訪問」、「宿泊」などの多様なサービスを希望に応じて組み合わせながら利用できること
7. 段差や間取り、耐震などが充実した住まいが提供されること
8. 契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること
9. 相談にいつでも乗ってもらえること
10. 外出時にサポートが受けられること
11. 医師・歯科医師の往診や薬剤師・看護師などに訪問してもらえること
12. 親しい人に声かけや見守りを行ってもらえること
13. 高齢者同士、また、高齢者と若者や子供との世代を超えた交流が行えるような居場所があること
14. 介護をする家族などの負担を軽減してもらえること
15. 買い物、荷物の持ち運び等を手伝ってもらえること
16. 電球の交換、部屋の模様替え、庭木の手入れ等を手伝ってもらえること
17. その他（具体的に： _____）

Q 3. 介護保険料は、介護サービス等の利用に必要な費用を基に算定しています。一人当たりが使う介護サービスが同じであっても、介護サービスを利用する高齢者数が増加すると、介護保険事業全体の総費用は増加し、保険料が上昇することとなります。あなたは、今後の介護保険料と介護サービスのあり方について、御自身の考え方に近いものは次のどれですか。〈○は1つ〉

- | |
|---|
| 1. 現在の介護保険サービス水準 [*] を維持するためには、必要な保険料上昇もやむを得ない |
| 2. 現在以上に介護保険サービス水準を充実するために、上記1よりもさらに保険料が上昇してもやむを得ない |
| 3. 保険料を現状程度に維持するために、介護サービス水準が縮小してもやむを得ない |
| 4. わからない |
| 5. その他（具体的に： _____） |

※介護保険サービス水準：一人当たりが使える介護サービスの量など

Q 4. 成年後見制度とは、認知症や障害などの理由で判断能力の不十分な人に代わり、財産を管理したり、身のまわりの世話のために介護などのサービスや施設への入所に関する契約を結んだりする支援を行う制度です。あなたは成年後見制度を知っていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

Q 5. 任意後見制度とは、成年後見制度の1つで、判断能力がある間に、本人が選んだ任意後見人と公正証書で契約しておき、本人の判断能力が低下した後、契約に基づき、本人の契約行為や財産管理を支援する制度です。あなたは任意後見制度を知っていますか。〈○は1つ〉

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

3-1 在宅介護実態調査票（要介護者本人用）

次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための すこやかアンケート 御協力をお願い

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。また、本調査票の各項目は、厚生労働省が行う「在宅介護実態調査」に則して定めたものです。

対象となられる方は、「在宅介護の実態把握」を主眼として、市内にお住まいの介護保険制度の要介護（要支援）認定を受けておられる65歳以上の方（令和4年10月1日現在）の中から無作為に抽出させていただいた約2,000人の皆様です。

なお、本調査につきましては、御回答いただきましたアンケート結果と皆様の要介護状態や介護サービスの利用状況等を突合のうえ、個人が特定される情報を割愛させていただいたうえで、統計情報として、分析・調査及び今後の施策に反映させていただきたいと考えておりますので、何卒御理解くださいますようお願いいたします。

また、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月
京都市

■ 御返送いただく期日

調査票は、御記入の後、無記名のまま3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月23日（金）**までに御返送くださいますようお願いいたします（切手は不要です。）。

■ 御記入いただく方について

この調査票は、原則として、あて名の御本人がお答えいただくことを想定していますが、健康状態などにより御本人によるお答えができない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。

■ 調査に関するお問い合わせ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア推進課
（担当：〇〇、〇〇）
電話：075（213）5871
FAX：075（213）5801

〇〇〇〇

■ 御記入上のお願

- 1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。設問の冒頭に「あなた」と記載しているものについては全ての方に、波線（〇〇）で記載している設問は該当する方に、それぞれお答えをお願いします。

<記入例>

Q2 あなたの性別をお教えてください。<〇は1つ>

1. 男性 2. 女性 3. 答えたくない 「男性」と回答する場合、「1」に○印
- 2 一部の質問には、具体的な内容を御記入いただく場合があります。その際、数字等の記入が必要な場合は、できるだけはっきりと御記入ください。
- 3 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態

■ その他

本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようお願いいたします。

「京都市民長寿すこやかプラン」 （京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）とは

本市では、高齢者施策を総合的に推進するため、3年ごとに、「高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業計画」を一体的に策定し、両計画の総称を「京都市民長寿すこやかプラン」としています。

高齢者保健福祉計画は、元気な高齢者への健康づくりや生きがいがづくり、ひとり暮らし高齢者への生活支援をはじめ、寝たきり、認知症、要介護状態になることを予防するサービスの提供、さらには要介護高齢者への介護サービスの提供など、本市に暮らす高齢者を対象とした保健サービスや福祉サービス全般にわたる供給体制づくりなどについて定めたものです。

介護保険事業計画は、地域における介護サービスの必要量を見込み、それを確保するための方策や介護保険料算定の基礎となる財政規模のほか、介護保険を円滑に運営するために必要な事業などについて定めたものです。

この調査は、令和6年度からの次期「京都市民長寿すこやかプラン」（令和6年度から令和8年度まで）策定の基礎資料とするため、実施するものです。

あなた（あて名の御本人）の状況について、お伺いします

Q 1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。

<あてはまるものすべてに○>

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. その他 |

Q 2. あなた（あて名の御本人。以下の問も同じです。）の世帯類型について、御回答ください。<○は1つ>

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 |
|---------|-----------|--------|

Q 3. あなたの性別について、御回答ください。<○は1つ>

- | | | |
|-------|-------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. 答えたくない |
|-------|-------|-----------|

Q 4. あなたの年齢について、御回答ください。<○は1つ>

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 65～69歳 | 2. 70～74歳 | 3. 75～79歳 |
| 4. 80～84歳 | 5. 85～89歳 | 6. 90歳以上 |

Q 5. あなたの要介護度について、御回答ください。<○は1つ>

- | | | |
|---------|----------|---------|
| 1. 要支援1 | 2. 要支援2 | 3. 要介護1 |
| 4. 要介護2 | 5. 要介護3 | 6. 要介護4 |
| 7. 要介護5 | 8. わからない | |

Q 6. あなたの現時点での施設等への入所・入居の検討状況について、御回答ください。

<○は1つ>

- | |
|----------------------|
| 1. 入所・入居を検討していない |
| 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、介護医療院、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

Q 7. あなたが、現在抱えている傷病について、御回答ください。

<あてはまるものすべてに○>

- | | | |
|---------------------------|----------------------------|--------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） | 3. 悪性新生物（がん） |
| 4. 呼吸器疾患 | 5. 腎疾患（透析） | |
| 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） | | |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 | |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 | 11. 難病（パーキンソン病を除く） |
| 12. 糖尿病 | 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） | |
| 14. その他 | 15. なし | 16. わからない |

Q 8. あなたが令和4年11月の1か月の間に、（住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の）介護保険サービスを利用しましたか。<○は1つ>

- | | |
|------------|--------|
| 1. 利用した | ⇒Q8-1へ |
| 2. 利用していない | ⇒Q8-2へ |

Q8-1. Q8で「1. 利用した」と回答した方にお伺いします。以下の介護保険サービスについて、令和4年11月の1か月間の利用状況をお答えください。対象の介護保険サービスを利用していない場合は、「1. 利用していない」を選択してください。〈○はそれぞれ1つ〉

	1週間あたりの利用回数（それぞれ1つに○）					
	1回程度	2回程度	3回程度	4回程度	5回程度	6回程度
	利用していない					
(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）	1	2	3	4	5	6
(2) 訪問入浴介護	1	2	3	4	5	6
(3) 訪問看護	1	2	3	4	5	6
(4) 訪問リハビリテーション	1	2	3	4	5	6
(5) 通所介護（デイサービス）	1	2	3	4	5	6
(6) 通所リハビリテーション（デイケア）	1	2	3	4	5	6
(7) 夜間対応型訪問介護 （※訪問のあった回数を回答）	1	2	3	4	5	6
	利用の有無について（○は1つ）					
(8) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1. 利用していない			2. 利用した		
(9) 小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない			2. 利用した		
(10) 看護小規模多機能型居宅介護	1. 利用していない			2. 利用した		
(11) ショートステイ（1か月あたりの利用日数）〈○は1つ〉	1. 利用していない 2. 月1～7日程度 3. 月8～14日程度 4. 月15～21日程度 5. 月22日以上					
(12) 居宅療養管理指導（1か月あたりの利用回数）〈○は1つ〉	1. 利用していない 2. 月1回程度 3. 月2回程度 4. 月3回程度 5. 月4回程度					

Q8-2. Q8で「2. 利用していない」と回答した方にお伺いします。介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。〈あてはまるものすべてに○〉

1. 現状では、サービスを利用するほどの状態ではない
2. 本人にサービス利用の希望がない
3. 家族が介護をするため必要ない
4. 以前、利用していたサービスに不満があった
5. 利用料を支払うのが難しい
6. 利用したいサービスが利用できない、身近にない
7. 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため
8. サービスを受けたいが手続や利用方法が分からない
9. その他

Q9. あなたが現在利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、御回答ください。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声掛け |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 利用していない | |

※ 総合事業に基づく支援・サービスは、「介護保険サービス」に含めます。

Q10. あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む。）について、御回答ください。〈あてはまるものすべてに○〉

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声掛け |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他 |
| 11. 特になし | |

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスともに含みます。

Q11. あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。

あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。〈〇は1つ〉

1. 利用している 2. 利用していない

Q12. あらかじめ、かかりつけ歯科医等の歯科医師が診療計画を立てて、月1～2回など定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問歯科診療といいます。

あなたは、現在、訪問歯科診療を利用していますか。〈〇は1つ〉

1. 利用している 2. 利用していない

Q13. あなたに対する御家族や御親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子供や親族等からの介護を含む。）。〈〇は1つ〉

1. ない ⇒ 調査は終了です
2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない
3. 週に1～2日ある
4. 週に3～4日ある
5. ほぼ毎日ある
- } ⇒Q14へ

Q14. あなたは18歳未満の御家族や御親族から介護を受けておられますか。

〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q13. 「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」を選択された場合は、同封の「すこやかアンケート（介護者の方）」への御協力もお願いします。

「すこやかアンケート（介護者の方）」については、介護されている方のうち主な介護者の方に御回答・御記入をお願いします。また、「主な介護者」の方の御回答・御記入が難しい場合は、御本人様（調査対象者様）に御回答・御記入をお願いします（御本人様の御回答・御記入が難しい場合は、無回答で結構です。）。

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

3-2 在宅介護実態調査票（介護者用）

次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための すこやかアンケート(介護者の方)御協力をお願い

京都市では、高齢者の方々が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指し、「すこやかアンケート」を3年に一度実施しています。

この度実施する調査は、令和6年度から令和8年度までの3年間を計画期間とする次期「京都市民長寿すこやかプラン」（京都市高齢者保健福祉計画・京都市介護保険事業計画）を策定するための基礎資料として利用するとともに、今後の高齢者保健福祉施策を進める上での参考とするために行うものです。また、本調査の各項目は、厚生労働省が行う「在宅介護実態調査」に則して定めたものです。

対象となられる方は、「在宅介護の実態把握」を主眼として、同封の「すこやかアンケート」のQ13で「2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」～「5. ほぼ毎日ある」を選択された方の介護者の方に御協力をお願いするものです。

「主な介護者」の方の御回答・御記入が難しい場合は、御本人様（調査対象者様）に御回答・御記入をお願いします（御本人様の御回答・御記入が難しい場合は、無回答で結構です）。

なお、お答えいただいた内容は、調査の目的にのみ利用し、皆様には不利益のないよう、秘密の保持には万全を期しています。

時節柄、何かとお忙しいところお手数ではございますが、調査の趣旨を御理解いただき、御協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月
京都市

■ 御返送いただく期日

調査票は、御記入の後、無記名のまま3つ折りにして同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月23日（水）**までに御返送くださいますようお願い申し上げます（切手は不要です）。

■ 御記入上のお願い

1 回答は、あてはまる番号に○印をつけてください。質問によっては、1つのみ回答していただくものと、複数回答していただくものがあります。質問に従ってお答えください。

<記入例>

Q4. 主な介護の者の方の性別について、御回答ください。<○は1つ>

①. 男性 2. 女性 3. 答えたくない ←「男性」と回答する場合、「1」に○印

2 この調査で使う用語の意味は次のとおりです。

介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも常時家族などの援助を受けている状態

■ その他

本調査は、本市における高齢者保健福祉施策を推進するために実施する調査であることを御理解いただき、御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

■ 調査に関するお問い合わせ

京都市保健福祉局健康長寿のまち・京都推進室介護ケア課
(担当：○○、○○)

電話：075(213)5871

FAX: 075(213)5801

○○○○

主な介護者の方にお伺いします

Q1. 現在、この調査票に御回答をいただいているのは、どなたですか。<○は1つ>

1. あて名の御本人（本調査のあて名の方で、御家族や御親族から介護を受けている方をいいます。）
2. 主な介護者の方

Q2. 御家族や御親族の中で、御本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません。）。

※自営業や農林水産業のお仕事を辞めた方を含みます。

<あてはまるものすべてに○>

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

Q3. 主な介護者の方は、どなたですか。<○は1つ>

- | | | |
|--------|----------|----------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 |

Q4. 主な介護者の方の性別について御回答ください。<○は1つ>

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

Q5. 主な介護者の方の年齢について御回答ください。<○は1つ>

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20代 | 3. 30代 |
| 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 |
| 7. 70代 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

Q 6. 現在、主な介護者の方が行っている介護等について御回答ください。

〈あてはまるものすべてに○〉

〈身体介護〉	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い・送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	
〈生活援助〉	
12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〈その他〉	
15. その他	16. わからない

Q 7. 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について御回答ください（現状で行っているか否かは問いません。）。

〈○は3つまで〉

〈身体介護〉	
1. 日中の排泄	2. 夜間の排泄
3. 食事の介助（食べる時）	4. 入浴・洗身
5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等）	6. 衣服の着脱
7. 屋内の移乗・移動	8. 外出の付き添い・送迎等
9. 服薬	10. 認知症状への対応
11. 医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）	
〈生活援助〉	
12. 食事の準備（調理等）	13. その他の家事（掃除・洗濯・買い物等）
14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〈その他〉	
15. その他	16. 不安に感じていることは、特にない
17. 主な介護者に確認しないと、わからない	

Q 8. 主な介護者の方の現在の勤務形態について、御回答ください。〈○は1つ〉

1. フルタイムで働いている	} ⇒Q8-1～Q8-3へ
2. パートタイムで働いている	
3. 働いていない	} ⇒Q9へ
4. 主な介護者に確認しないと、わからない	

Q 8-1. Q 8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか。

〈あてはまるものすべてに○〉

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている |
| 3. 介護のために、「休暇（年休や介護休暇等）」を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、「在宅勤務」を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないとわからない |

Q 8-2. Q 8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。

〈○は3つまで〉

- | |
|----------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない |
| 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり |
| 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） |
| 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 |
| 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 |
| 9. その他 |
| 10. 特にない |
| 11. 主な介護者に確認しないとわからない |

Q 8-3. Q 8で「1. フルタイムで働いている」又は「2. パートタイムで働いている」と回答した方にお聞きします。主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。〈○は1つ〉

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1. 問題なく、続けていける | 2. 問題はあるが、何とか続けていける |
| 3. 続けていくのは、やや難しい | 4. 続けていくのは、かなり難しい |
| 5. 主な介護者に確認しないと、わからない | |

Q 9. 主な介護者の方は18歳未満の子供がいますか。〈〇は1つ〉

1. はい 2. いいえ

Q10. 介護を受けている方（本調査のあて名の方）の、介護に使用される紙おむつの使用量について御回答ください。〈〇は1つ〉

1. 1日3回 2. 1日4回 3. 1日5回 4. 1日6回以上

アンケートは以上です。御協力ありがとうございました。

4 介護サービス事業者調査票

次期「京都市民長寿すこやかプラン」策定のための 介護サービス事業者に関するアンケート調査

<調査票の記入について>

- 1 回答に選択肢がある場合は、当てはまる選択肢の番号を○で囲んでください。「○は1つ」などとしている場合がありますので、設問中の注意事項を御確認ください。
- 2 設問によっては、回答していただく事業者が限られるものがあります。御注意ください。
- 3 本調査は、市内で施設・居住系サービスを提供する介護サービス事業所（※）を対象としたものです。

※令和4年7月の給付実績のある事業所を対象としています。

■御返送いただく期日

御記入後、同封の返信用封筒に入れ、**令和4年12月23日(金)**までに御返送くださいますようお願いいたします。(切手は不要です。)

■調査に関するお問合せ及び送付先

京都市 保健福祉局 健康長寿のまち・京都推進室 介護ケア推進課 (担当: ○○、○○)

電 話: 075-213-5871

FAX: 075-213-5801

貴事業所の概要についてお聞きます。

事業所番号	2	6							
法人種別	1. 社会福祉法人		2. 医療法人		3. 株式会社				
	4. 有限会社		5. NPO法人						
	6. その他 ()								
法人名称									
事業所名称									
事業所の所在地	-----								
電話番号				記入者※		(役職) (氏名)			
メールアドレス									

※ 本調査は、貴事業所・施設としての見解をお伺いするものですので、貴事業所・施設の総意を御回答いただける方が回答してください。

問1 貴事業所における提供サービスについて、番号を○で囲んでください。

(令和4年11月1日現在の状況でお答えください)

○ 各介護予防サービスを含む。

1. 介護老人福祉施設	2. 介護老人保健施設
3. 介護療養病床（介護療養型医療施設）	4. 介護医療院
5. 特定施設入居者生活介護（下記のかっこ内から種別を選択してください）	
A 有料老人ホーム（混合型） B 有料老人ホーム（介護専用型） C 養護老人ホーム D ケアハウス E サービス付き高齢者向け住宅（混合型） F サービス付き高齢者向け住宅（介護専用型）	
6. 地域密着型特定施設入居者生活介護（下記のかっこ内から種別を選択してください）	
A 有料老人ホーム（混合型） B 有料老人ホーム（介護専用型） C 養護老人ホーム D ケアハウス E サービス付き高齢者向け住宅（混合型） F サービス付き高齢者向け住宅（介護専用型）	
7. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
8. 認知症対応型共同生活介護	
9. その他の施設	

問2 貴事業所における従業者数を御記入ください。（令和4年11月1日現在の状況でお答えください）

- 複数の職種に従事している場合は、主として従事している職種のいずれか1つに分類して御記入ください。
- ページ下部記載の【換算数の計算式】により算出した数を記載してください。
- 主として従事している職種を決めたい場合は、1～27の数字の若い順で優先して御記入ください。
- 派遣社員で対応している場合は、その数は職員数には含まないでください。

職員配置	常勤（小数点1位まで）	非常勤（小数点1位まで）
1. 管理者	. 人	. 人
2. 医師	. 人	. 人
3. 歯科医師	. 人	. 人
4. 薬剤師	. 人	. 人
5. 看護師	. 人	. 人
6. 准看護師	. 人	. 人
7. 介護支援専門員	. 人	. 人
8. うち主任介護支援専門員	. 人	. 人
9. 計画作成担当者	. 人	. 人
10. 介護職員	. 人	. 人
11. うち介護福祉士	. 人	. 人
12. 理学療法士	. 人	. 人
13. 作業療法士	. 人	. 人
14. 言語聴覚士	. 人	. 人
15. 柔道整復師・あん摩マッサージ指圧師	. 人	. 人
16. はり師又はきゅう師	. 人	. 人
17. 生活相談員・支援相談員	. 人	. 人
18. うち社会福祉士	. 人	. 人
19. うち社会福祉士又は社会福祉士主任任用資格	. 人	. 人
20. 栄養士	. 人	. 人
21. うち管理栄養士	. 人	. 人
22. 歯科衛生士	. 人	. 人
23. 調理員	. 人	. 人
24. 事務職員	. 人	. 人
25. その他	. 人	. 人

【換算数の計算式】

$$\frac{\text{職員の1週間の勤務時間}}{\text{施設が定めている1週間の勤務時間}} \times \frac{\text{施設が定めている1週間の勤務時間}}{\text{職員1箇月の勤務時間}}$$

<※1箇月に数回の勤務である場合>

$$\frac{\text{施設が定めている1週間の勤務時間} \times 4 \text{ (週)}}{\text{職員1箇月の勤務時間}}$$

上記計算式によって得られた数値を、小数点以下第2位を四捨五入して、小数点第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

※職員の勤務時間は実態に応じて、算出してください。管理者等の職種で、事業別に従事した時間を把握することが困難である場合には、おおよその時間によって算出してください。

問3 貴事業所において、サービスを利用されている方について、御記入ください。

①定員は、令和4年11月1日現在の状況でお答えください。

②利用者数は令和4年10月1日から10月31日までの利用者について、延べ人数ではなく、**実人数**を御記入ください。

① 定員	② 利用者数
_____ 人	_____ 人(実人数)

問3-1 貴事業所における令和3年4月から令和4年3月までの月平均の利用者数について御記入ください。

利用者数
_____ 人(実人数)

問4 問3②の利用者数について、要介護度別・居住地別の人数を御記入ください。

○入所前の居住地について御記入ください。

	事業所が位置する行政区内	市内の他の行政区	他の市町村	合 計
事業対象者	人	人	人	人
要支援1	人	人	人	人
要支援2	人	人	人	人
要介護1	人	人	人	人
要介護2	人	人	人	人
要介護3	人	人	人	人
要介護4	人	人	人	人
要介護5	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人

問3②の利用者数と合致させてください

問4-1 問3②の利用者数について、認知症高齢者の日常生活自立度別・居住地別の人数を御記入ください。

○入所前の居住地について御記入ください。

	事業所が位置する行政区内	市内の他の行政区	他の市町村	合 計
自立	人	人	人	人
I	人	人	人	人
IIa	人	人	人	人
IIb	人	人	人	人
IIIa	人	人	人	人
IIIb	人	人	人	人
IV	人	人	人	人
M	人	人	人	人
合 計	人	人	人	人

問3②の利用者数と合致させてください

問5 貴事業所における利用者の確保状況について、3年前と比較して変化がある場合は、その違いについてお答えください。

1. 容易になった 2. 比較的容易になった 3. 変わらない
 4. 比較的困難になった 5. 困難になった 6. 3年前には未開所
 7. その他

（具体的に

問5-1 問5の回答を選択した理由をご記入ください。

問5-2 併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の専用床をお持ちの事業所にお聞きします。

併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の利用状況は、3年前と比較してどのように変化していますか。

1. 利用が減っている 2. 変わらない 3. 利用が増えている

問6 貴事業所における3年後の利用者の確保は、現在と比較してどのようになるとお考えですか。

1. 容易になる 2. 変わらない 3. 困難になる
4. その他
（具体的に

問6-1 問6の回答を選択した理由を御記入ください。

()

問6-2 併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護の専用床をお持ちの事業所にお聞きします。

併設の短期入所生活介護又は短期入所療養介護における3年後の利用状況は、現在と比較してどのようになるとお考えですか。

1. 利用が減る 2. 変わらない 3. 利用が増える

問6-3 問6-2の回答を選択した理由を御記入ください。

()

問7 入所(入居)期間別の入所(入居)者数について御記入ください。(令和4年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)

3箇月未満	3箇月以上 6箇月未満	6箇月以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 3年未満	3年以上	合計
人	人	人	人	人	人	人

問7-1 入所(入居)申込から入所(入居)までの期間を御記入ください。(令和4年11月1日現在入所(入居)中の利用者についてお答えください)

1箇月未満	1箇月以上 3箇月未満	3箇月以上 6箇月未満	6箇月以上 1年未満	1年以上	合計
人	人	人	人	人	人

問8 入所(入居)前の居所について御記入ください。(令和3年11月1日から令和4年10月31日までの入所(入居)者についてお答えください)

居宅(一人暮らし)	人	介護老人福祉施設	人
居宅(家族と同居)	人	介護老人保健施設	人
養護老人ホーム	人	介護療養病床(病院)	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	医療療養病床(病院)	人
有料老人ホーム	人	介護医療院	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	その他	人
認知症対応型共同生活介護		合 計	人

問8-1 退所(退居)後の居所等について御記入ください。(令和3年11月1日から令和4年10月31日までの退所(退居)者についてお答えください)

居宅(一人暮らし)	人	介護老人保健施設	人
居宅(家族と同居)	人	介護療養病床(病院)	人
養護老人ホーム	人	医療療養病床(病院)	人
軽費老人ホーム・ケアハウス	人	介護医療院	人
有料老人ホーム	人	死 亡	人
サービス付き高齢者向け住宅	人	その他	人
認知症対応型共同生活介護	人	未定	人
介護老人福祉施設	人	合 計	人

問9 令和4年11月1日現在で、把握している入所(入居)申込者数について御記入ください。

_____人

問10 入所者の平均入所期間について御記入ください。

※ 令和3年11月1日～令和4年10月31日までに施設を退所された方の平均値を御回答ください。

延べ退所者数 人 平均入所期間 年 か月

事業運営上の課題等についてお聞きします。

問11 介護サービスの質の向上のために具体的な取組はされていますか。(〇は3つまで)

1. 第三者評価の受診
2. 苦情解決第三者委員やオンブズパーソン等の第三者による苦情・相談システムの導入
3. 京都市介護サービス相談員の受入
4. 苦情や事故の事例研究
5. 情報の積極的な公表
6. 外部研修(他施設の見学も含む)への積極的な参加
7. 内部研修の充実
8. 介護サービス事業者間の交流の活性化
9. 多様な福祉用具や器具の開発・導入
10. 施設等内の設備の改善
11. 職員の心身の健康管理や労働環境の整備
12. 職員の人権意識の向上の取組
13. 職員の給与引上げ
14. その他

具体的に

問12 適切なサービス提供を行ううえで、運営上の課題を教えてください。

介護従事者の確保・処遇改善についてお聞きます。

問 13 貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に従事する従業員について 1 年間(令和3年11月1日から令和4年10月31日まで)の採用者数、離職者*数をお聞きます。

また、貴事業所で 1 年間に離職した者のうち、勤務年数が「1 年未満の者」、「1 年以上 3 年未満の者」、「3 年以上 5 年未満の者」、「5 年以上 10 年未満の者」及び「10 年以上の者」の人数は何人でしたか。

※「離職者」とは、調査対象期間中に事業所を退職あるいは、解雇された者を指し、他企業への出向者・出向復帰者を含み、同一企業内の他事業所への転出者を除く。

注) 該当者がいない場合は、0 を記入してください。

		1 年間 (令和 3 年 11 月 1 日から令和 4 年 10 月 31 日まで) の採用者・離職者		離職者の勤務年数				
		採用者	離職者	1 年未満の者	1 年以上 3 年未満の者	3 年以上 5 年未満の者	5 年以上 10 年未満の者	10 年以上の者
正規職員		人	人	人	人	人	人	人
非正規職員	常勤労働者	人	人	人	人	人	人	人
	短時間労働者	人	人	人	人	人	人	人

問 14 貴事業所において、介護職員等の過不足(※)の状況はどうか。
(あてはまる番号ひとつに○)

※資格保有者ではなく、その仕事(職種)に就く者について記入して下さい。

	1 不足	2 大いに不足	3 やや不足	4 適当	5 過剰	6 当該職種は いない
介護職員	1	2	3	4	5	6
看護職員	1	2	3	4	5	6
生活相談員	1	2	3	4	5	6
PT・OT・ST 等	1	2	3	4	5	6
事業所全体でみた場合	1	2	3	4	5	6

問 14-1 問 14 の「事業所全体でみた場合」で「1. 大いに不足している」「2. 不足している」「3. やや不足している」のいずれかに○を付けた事業所で、介護職員等の不足への対応状況について、該当するもの全てに「○」を選択してください。

1. 別の事業所から人を借りるなど法人内で人のやりくりをしている
2. 今いる人員でなんとかやりくりをしている
3. ボランティアを活用している
4. 派遣会社を活用している
5. 人材紹介会社を活用している
6. ICT を導入して、事務手続きを簡略化している
7. 土日を営業日から除外するなど営業日を減らしている
8. 利用者の人数制限をしている
9. 他事業所を閉鎖して、人員を確保している
10. その他
 (具体的に)

問 14-2 問 14 の「事業所全体でみた場合」で「1. 大いに不足している」「2. 不足している」「3. やや不足している」のいずれかに○を付けた事業所で、事業所が実施する業務の中で、特に人手が足りない業務について、選択してください。

1. 食事介助
2. 入浴介助
3. 排泄介助
4. 夜間帯の勤務
5. その他
 (具体的に)

問 15 貴事業所で外国人介護職員(※)を雇用していますか。該当する項目に「○」を選択してください。また、「雇用している」と回答した事業所は人数と内訳を記載してください。

※ 在留資格が「EPA」、「留学生」、「技能実習」、「特定技能1号」、「介護」の方

1. 雇用しておらず、今後も雇用の予定はない
 2. 雇用していないが、今後は検討していく
 3. 雇用している → 人数と内訳も記載ください。



	EPA	在留資格 (介護)	技能実習	特定技能1号	留学生	その他	合計
人数	人	人	人	人	人	人	人

問 15-1 問 15で「1 雇用しておらず、今後も雇用の予定はない」と回答した事業所は、その理由について該当するもの全てに「○」を選択してください。

1. 利用者、従業員との意思疎通に支障があると思うから
 2. 外国人介護職員を指導できる職員の確保が難しいから
 3. 日本語文章力・読解力の不足により、介護記録の作成に支障があると思うから
 4. 受け入れ方法や活用方法が分からないから
 5. 受け入れ外国人の住居の確保が難しいと思うから
 6. いずれ帰国してしまうなど人材の定着には繋がらないと思うから
 7. 人件費以外に様々なコストがかかると思うから
 8. 生活習慣等の違いにより、業務に支障があると思うから
 9. その他
 (具体的に)

問 16 貴事業所において、ICTや介護ロボットを導入しているでしょうか。導入しているタイプについて該当するもの全てに「○」を選択してください。また、効果についても該当する項目に「○」を選択してください。

	内容	実施している	効果がある
1.	利用者請求 (会計等)		
2.	介護・業務記録 (バイタルチェック等)		
3.	勤怠管理		
4.	移乗介護 (パワーアシスト装着型機器等)		
5.	移動支援 (歩行支援機器等)		
6.	排泄支援 (排泄補助ロボット等)		
7.	見守り (カメラ・センサー等)		
8.	入浴支援 (出入り用リフト等)		
9.	その他		

問 16-1 問 16で「9 その他」を選択された場合、その具体的な内容を記入してください。

問 17 介護職員処遇改善加算(介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算含む)を届出されていない事業所にお聞きします。届出を行っていない理由を教えてください。

<介護職員処遇改善加算>

<介護職員等特定処遇改善加算>

<介護職員等ベースアップ等支援加算>

関係機関との連携についてお聞きします。

問 18 業務に従事しておられる地域において、医療・介護関係者間の連携が進んでいると思われますか。

1. 思う

2. 思わない

問 19 医療・介護連携を進めるために、どのような取組が必要と思われますか。

1. 連携で困ったときに相談できる窓口
2. 患者・家族の在宅療養に関する普及・啓発
3. 在宅療養についての現状・課題、対応策等を検討・共有する協議の場
4. 関係機関のリスト・連絡先等の提供
5. 各施設・職種の役割について理解を深める機会
6. 医療側のための介護知識の習得・向上の機会
7. 介護側のための医療知識の習得・向上の機会
8. その他

具体的に

本市の施策や介護保険制度についてお聞きします。

問 20 本市の高齢者保健福祉施策や介護保険制度などについて、御意見がありましたら、御自由にお書きください。

質問は以上です。アンケートに御協力いただき、ありがとうございました。

令和4年度第1回高齢保健福祉計画ワーキンググループの協議事項に係る御意見と検討結果について

8月31日に開催した令和4年度第1回高齢保健福祉計画ワーキンググループの協議事項1において頂戴した御意見と、検討結果については以下のとおりです。

◎ 協議事項1「すこやかアンケート及び介護サービス事業者に関するアンケート調査の実施について」

御意見	検討結果
<p>○ 「住まい」に関する設問が削除されているが、地域包括ケアシステムを推進するうえで、生活基盤である「住まい」は重要なテーマであると考えます。そのため、例えば、高齢者調査の間13Q2「あなたは、今後も住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。」や、若年者調査の間6Q2「あなたは高齢期になって、住み慣れた地域で生活を続けるには、どのような支援を充実すべきだと思いますか。」の設問の選択肢の一つとして、「住まいに対する支援が必要」であることを受け止められるような項目を入れてはどうか。</p> <p>○ 京都市社会福祉協議会では、京都市から委託を受けて「健康すこやか学級」事業や「老人福祉センター」の運営を行っている。この2つの事業についての認知度を問う設問を新設することについて検討してほしい。</p>	<p>○ 高齢者調査の間13Q2及び若年者調査の間6Q2の選択肢の中に「7. 段差や間取り、耐震などが充実した住まいが提供されること」という項目があります。この項目において、住まいに対する支援が必要と思われる方がどの程度おられるのかについて、一定把握できると考えております。</p> <p>御意見を踏まえまして、上記の選択肢に、「バリアフリー改修の支援が受けられること」という文言を追加しました。</p> <p>○ 高齢者調査の間7Q16及び若年者調査の間4Q5で「地域包括支援センター（高齢サポート）」の認知度を問う設問を設けておりますが、これは「京都市民長寿すこやかプラン」の中で、「高齢サポートを認知している人の割合」という目標指数があるためです。</p> <p>そのため、プランの目標指数にはない個別の事業や施設等の認知度を問う設問の新設については控えさせていただきます。</p>

○ 高齢者調査の問2「運動・外出について」の「あなたは外出を控えていますか」という項目が削除されている。高齢者の場合、人との交流の機会を高めることが、認知症予防等において重要になると思う。

○ 高齢者調査と在宅介護実態調査の対象が65歳以上で重なっているが、無作為抽出の結果、対象者が重ならないように調整するのか。

○ 高齢者調査の問1 Q7の選択肢にある「事業対象者」は、一般の方には用語としてわかりにくいのではないか。

認知度とは少しずれますが、「介護予防のための通いの場」への参加頻度については、高齢者調査の問7 Q12「あなたは以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。」において把握することができます。当該設問の選択肢「(5) 介護予防のための通いの場」の例示として「健康長寿サロン、健康すこやか学級、公園体操」を挙げていましたが、御意見を踏まえまして、「老人福祉センター」を追加しました。

○ 外出を控えているかどうかについては、国から必須項目として示されている、高齢者調査の問2 Q4「あなたは週に1回以上は外出をしていますか。」、Q5「あなたは昨年と比べて外出の回数が減っていますか。」という類似した設問で一定把握できるものと考えております。

そのため、国からオプション項目として示されている「あなたは外出を控えていますか」という項目については、削除とさせていただきます。

○ 対象者が重ならないよう調整いたします。

○ 「事業対象者」とは、「介護予防・日常生活支援総合事業」の対象者のことであり、運動器の機能などの状態にかかわる25項目の質問（基本チェックリスト）に回答いただいた結果、日常生活における何らかのリスク（危険）があると判定された方で

○ 同じ地域に長く住まわれている人は、当該地域の資源や情報を把握されているが、転入されてきた方はそうではない。それぞれで状況や属性が異なるため、例えば「今の地域に10年以上お住まいでしょうか。」という設問を設けてはどうか。

す。

上記の対象者については、介護保険被保険者証の「要介護状態区分等」の欄に「事業対象者」と印字されていることから、自分が「事業対象者」に当たると把握されていると考えております。また、前回調査においても、「事業対象者」の選択率が、実態と概ね乖離しておりませんでしたので、このままとさせていただきます。

○ 高齢者調査の問1 Q 2 及び若年者調査の問1 Q 3の後ろに、「あなたは現在の地域（学区）に何年お住まいですか。」という設問を追加しました。

令和4年度第1回介護保険事業計画ワーキンググループの協議事項に係る御意見と検討結果について

8月31日に開催した令和4年度第1回介護保険事業計画ワーキンググループの協議事項1において頂戴した御意見と、検討結果については以下のとおりです。

◎ 協議事項1「すこやかアンケート及び介護サービス事業者に関するアンケート調査の実施について」

御意見	検討結果
<p>○ 高齢者調査の問5Q2「あなたは自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか。」の項目について、電話番号を忘れてどうかを問う設問であると思うので、例えば「あなたは友人の電話番号を忘れることが多いですか」にしたほうが良いのではないかと。もしくは、Q1「あなたは物忘れが多いと感じますか。」に統合しても良いのではないかと。</p> <p>○ 高齢者調査の問8Q4「あらかじめ、かかりつけ医等の医師が診療計画を立てて、月1～2回程度定期的に患者さんの居宅に訪問することを訪問診療といいます。あなたは、現在、訪問診療を利用していますか。」の※印の説明文が長くてわかりにくい。自分が受けている訪問診療が、居宅療養管理指導に当たるかどうか意識している方は少ないと思う。</p> <p>○ 高齢者調査の問1Q5で個人の年間総収入を問う設問があるが、答えにくいのではないかと。</p>	<p>○ 当該設問項目については、国から示されている調査項目（オプション項目）で、高齢者の機能低下を判定する基本チェックリストの項目と同じ内容となっています。経年比較及び全国比較の観点で、このままの表現とさせていただきます。</p> <p>○ 御指摘のとおり、自分が受けている訪問診療が居宅療養管理指導に当たるかどうかなどを意識されている方は少ないと考えますので、高齢者調査の問8Q4とQ5、在宅介護実態調査（本人向け）のQ11とQ12の※印の注意書きを削除しました。</p> <p>○ 当該調査項目については、収入と各項目の回答との相関を確認するために設けております。 高齢者調査は無記名形式で実施しており、本人が特定される</p>

- 別紙3の在宅介護実態調査の本人向け調査のQ11とQ12の違いは何か。
- 介護サービス事業者調査の問17「(1) 介護職員処遇改善加算（介護職員等特定処遇改善加算及び介護職員等ベースアップ等支援加算含む）を届出されていない方にお聞きします。届出を行っていない理由を教えてください。」について、「届出されていない方」となっていますが、これは特定個人への聞き方のようなので「届出されていない事業所」の方が良いのではないかと。
- 高齢者調査については、85歳以上の方も調査対象となるため、回答することが大変だと思う。そのため、例えば、家族やヘルパーが代わりに回答しても良いことを記載しておいてはどうか。
- 若年者調査について、調査対象者数を増やすことは難しいと思うが、例えば、幅広く回答いただくために、インターネットによる回答を取り入れてはどうか。
- 高齢者調査と在宅介護実態調査の対象が65歳以上で重な

ことはないため、設問項目はそのまま残させていただきます。

- Q11が訪問診療、Q12が訪問歯科診療の利用状況を問う設問でしたが、両設問とも訪問診療となってしまいましたので、修正いたしました。
- 御指摘を踏まえ、「届出されていない事業所」に表現を変更しました。
- アンケートの1枚目の「■ 御記入いただく方について」において、「健康状態などにより御本人によるお答えができない場合は、御本人の状況がわかる方が御本人の意思を確認しながら御記入いただくか、御本人の立場に立って御記入ください。」という説明を記載しております。
- 今回、インターネット回答を導入することを想定して予算確保していないため、導入することはできませんが、次回以降の調査での実施について検討してまいります。
- 対象が重ならないよう調整いたします。

<p>っているが、無作為抽出の結果、対象者が重ならないように調整するのか。</p>	
---	--